

学年	ページ	行	変更事項	変更内容	備考
4年	16～17	絵	削除 変更	<p>地図の絵を削除し、ゆいとジャンとまりの住んでいる場所を明記しながら、次のように表した。</p> <p>東京に住むゆいさんは、ロサンゼルス（アメリカ）に住む友達のジャンさんとシンガポールに住んでいるまりさんとメールでやりとりをしています。ある日、ジャンさんからメールがとどきました。</p>	編集の具体的方針(5)
	18	グラフ	変更	<p>「1年間の気温の変わり方（東京）」のグラフについて触って目もりを数えられることを優先し、縦の軸の1目もりを5℃に変更した。</p> <p><u>本單元では、以降も同様の変更を行った。ただし、課題によっては1目盛りを10℃や0.5℃にしたものもある。</u></p>	編集の具体的方針(2)
	18	文章	追加	<p>青囲みの後に、次の「折れ線グラフの読み方」の追加した</p> <p>折れ線グラフの読み方</p> <p>1. グラフの表題を読む。</p> <p>表題の後に、長い言葉を短い言葉にした約束事や単位の説明等があるときには、それぞれの内容を確認しておく。</p> <p>2. 縦軸と横軸を確認する。</p> <p>縦軸と横軸を触って1目もりの大きさや単位を確認する。</p> <p>3. 折れ線グラフを調べる。</p> <p>折れ線グラフの高さの数値を調べたり、高さの変化の様子を比べたりする。</p>	<p>編集の具体的方針(9)</p> <p>グラフを見て読み取る場合は、全体像を一度に確認することができるが、触って読む場合には部分から全体を把握しなければならない。そのため、読む順序も重要になることから追加した。</p>
	18	図	削除	<p>横の軸と縦の軸を説明した図を削除した。</p>	<p>編集の具体的方針(1)</p> <p>横の軸と縦の軸については、3年生で学習済みのため図を削除した。</p>
	21	グラフ セリフ	変更	<p>墨字のグラフでは波線で縦の軸の省略を表すが、点字のグラフでは縦の軸を3点抜くことで省略を表すこととした。そのため、ラビちゃんのセリフを次のように変更した。</p> <p>ラビちゃん「図の(イ)では、0℃～26.5℃までの間を省略しているね。縦軸の一部との点をとっているよ。</p>	編集の具体的方針(1)

				どの部分かな。」	
21	12	変更		「～を使ってとちゅうを省き，1℃の間かくを大きくとると，変わり方が見やすくなります。」を「図の(イ)のようにとちゅうを省き，1℃の間かくを大きくとると，変わり方が見やすくなります。」に変更した。	編集の具体的方針(1)
22	表	変更		「1年間の気温の変わり方」の表から「上海」「シドニー」「アテネ」「カイロ」「ニューヨーク」「リオデジャネイロ」を別々の表にして分けて掲載した。	編集の具体的方針(1) それぞれの位置について 地図帳などで確認するよう にしたい。
23	グラフ	変更 追加		原典教科書では，(1)で上海の気温の変わり方を折れ線グラフにすると，「さらに考えよう」でシドニーの気温の変わり方を折れ線グラフにするときに，同じ方眼を使うようになっているが，作りやすさを考え，それぞれに方眼を掲載した。 また，表題，横の軸の数値と単位，縦の軸の数値と単位は入れておき，折れ線グラフをつくる活動のみとした。	編集の具体的方針(9)
23	グラフ	変更		「折れ線グラフのかき方」を「折れ線グラフの表し方」に変更し，図と説明の順序を入れ替え，説明が先になるようにした。また，グラフの中の丸数字は削除し，表題，横の軸・縦の軸の数値，単位を入れておき，説明を次のように変更した。 1 横の軸に，「月」をとり目盛りが表す数と単位を書く。 2 縦の軸に，「気温」をとり一番大きい数と小さい数が表せるように，目もりが表す数と単位を書く。 3 それぞれ月と気温が変わるところに印をつけ，順に直線をつなぐ。 4 表題を書く。	編集の具体的方針(9)
24	9 グラフ	変更		練習問題2の「右の考え」を「りくさんの考え」に変更し，囲みの中の文章を，りくのセリフとして表した。また，グラフの方眼は1目もりを大きくして傾きに差が出るようにした。	編集の具体的方針(1) (9)
28	1～ 10 表	削除 変更		1. について，次のように変更した。 表10を見て，何年生にどのような種類のけがが多いかわかる表をつくりましょう。	編集の具体的方針(1) (9)

			<p>めあて 2つの事がらが一度にわかる表をつくろう。</p> <p>(1) けがの種類を答えましょう。</p> <p>(2) 1年生から6年生までの学年ごとに、どのようなけがをしたのか調べましょう。</p> <p>(3) 調べた人数を表 13 のように一つにまとめましょう。また、合計も求めましょう。</p> <p>表 13 学年とけがの種類(人)</p> <p>すりーすりきず, きりーきりきず, だーだぼく, つきーつきゆび, けいー合計</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>けい</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>すり</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>きり</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>だ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>つき</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>けい</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>ラビちゃん「学年の人数の合計を合わせた数と、けがの種類ごとの人数の合計を合わせた数が等しくなったかな。」</p> <p>(4) 表を見て、気づいたことを話し合ひましょう。 ラビちゃん「ほけんだよりにはどんなことを書けばいいのかな。」</p> <p>また、墨字の「正」の字の代わりに「へ」の字を使う方法もあることは、ラビちゃんの「数を調べる時にへ字を使って調べる方法もあるね。」というセリフという形で示した。</p>		1	2	3	4	5	6	けい	すり								きり								だ								つき								けい								
	1	2	3	4	5	6	けい																																													
すり																																																				
きり																																																				
だ																																																				
つき																																																				
けい																																																				
	28	19	<p>変更</p> <p>(1)を次のように変更した。</p> <p>けがの種類と場所について、次の表 14 を完成させましょう。</p> <p>表 14 けがの種類と場所(人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th><input type="checkbox"/></th> <th><input type="checkbox"/></th> <th><input type="checkbox"/></th> <th><input type="checkbox"/></th> <th>ごうけい</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ごうけい</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ごうけい	<input type="checkbox"/>						<input type="checkbox"/>						<input type="checkbox"/>						<input type="checkbox"/>						ごうけい						編集の具体的方針(1)												
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ごうけい																																															
<input type="checkbox"/>																																																				
<input type="checkbox"/>																																																				
<input type="checkbox"/>																																																				
<input type="checkbox"/>																																																				
ごうけい																																																				

	30	表	変更	「借りたいもの調べ」の表を3、の問題文に掲載し、表中の○は「借りる」、×は「借りない」と表した。	編集の具体的方針(1)								
	31	表	変更	「こまと竹馬調べ」の表中で、○は「ある」、×は「ない」と表した。	編集の具体的方針(1)								
	32	グラフ8～9	変更	<p>しっかりチェックの「ひまわりの高さの変わり方」のグラフの数値を変更した。変更した理由は、次のとおりである。</p> <p>1. の問題では、同じグラフを使用し、あさがおの高さを折れ線グラフでかき加える。グラフの交差する数値を見付ける課題の際、点図の図表では、1目盛りが50cm単位となっているため、正確な数値が分かりにくい。そこで、目盛りを読んで明確に分かる数値に変更することにした。</p> <p>変更した数値</p> <table style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>6月30日</td> <td>70cm</td> <td>7月10日</td> <td>100cm</td> </tr> <tr> <td>7月20日</td> <td>150cm</td> <td>7月30日</td> <td>175cm</td> </tr> </table> <p>(3)の問題について、60cmになった日を読み取ることは、点図ではちょうど60cmに目もりがなくあいまいな数値になってしまうため、50cmになった日を読み取る問題に変更した。</p>	6月30日	70cm	7月10日	100cm	7月20日	150cm	7月30日	175cm	編集の具体的方針(1) (9)
6月30日	70cm	7月10日	100cm										
7月20日	150cm	7月30日	175cm										
	36	文章	追加	<p>そろばんと関係付けて学習することを強調するために、次の文章を追加した。</p> <p>この単元では、珠算編2の「4わり算1わり算(1)」を使って、そろばんでの計算の仕方を考えましょう。</p>	編集の具体的方針(7)								
	36	写真図	削除変更	<p>黒板の写真を削除し、「先生が黒板に問題を書きました。」という文章を書いたうえで、黒板に書かれた問題を書いた。そのあとの先生のセリフを「折り紙を3人で同じ数ずつ分ける計算を考えましょう。□がいくつだったら計算できるかな。60、63、72だとどうかな。」とした。</p> <p>また、60枚で計算をする際に、参考になるように10のまとまり6個を図示した。</p> <p>なお、テープ図はいずれも、基準となる数直線から先に触れるように、数直線を上に、テープを下にし</p>	編集の具体的方針(1) (5)								

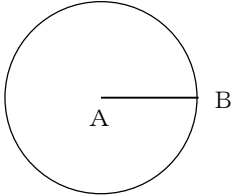
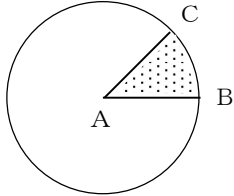
				た。 <u>本単元のテープ図は、すべて同様に変更を行った。</u>	
39	図	変更	けんとの考えとなつみの考えの図式を、それぞれ次のように表した。 けんとさんの考え 72÷3の72を70と2に分ける。はじめに10の束をわけると、 7÷3=2あまり1 残りは12まい。 12÷3=4 20と4で合わせて24枚。 なつみさんの考え 72÷3の72を60と12に分ける。 60÷3=20 12÷3=4 合わせて24まい。	編集の具体的方針(1)	
40	写真 図	削除 変更	教室の写真および黒板に示された図式等を削除し、教室の様子を次のように表した。 72÷3について話し合っています。 先生「しょうたさんは図で考え、10の束から分けました。けんとさんは、72を70と2に分けて考えました。なつみさんは、72を60と12に分けて考えていますね。」	編集の具体的方針(1) (5)	
42	筆算	削除 変更	筆算の仕方の説明と図を削除し、計算の仕方を次のように表した。 72÷3の計算の仕方 (1) わられる数の10の位の7を3でわり、答えの10の位に2を立てる。(だから10の位の答えは20) (2) 7から2・3が6の6をひく。わられる数の残りは12 (3) わられる数の12を3でわり、答えの1の位に4を立てる。(だから1の位の答えは4) (4) 12から4・3の12をひく。 (5) 12-12=0 (だから余りは0) (6) (1)(3)を合わせて20+4=24 (7) 72÷3=24	編集の具体的方針(6)	

				筆算では、 $72 \div 3$ を図のように書いて計算します。 $\begin{array}{r} 3 \overline{) 72} \end{array}$	
43	筆算	削除 変更	筆算の仕方の説明と図を削除し、計算の仕方を次のように表した。 $67 \div 4$ の計算のしかた (1) わられる数の 10 の位の 6 を 4 でわり、答えの 10 の位に 1 を立てる。(だから 10 の位の答えは 10) (2) 6 から $1 \cdot 4$ が 4 の 4 をひく。わられる数の残りは 27 (3) わられる数の 27 を 4 でわり、答えの 1 の位に 6 を立てる。(だから 1 の位の答えは 6) (4) 12 から $6 \cdot 4$ 24 の 24 をひく。 (5) $27 - 24 = 3$ (だから余りは 3) (6) (1)(3) を合わせて $10 + 6 = 16$	編集の具体的方針(6)	
43	図	変更	青囲みの中の和差積商を説明した図式を、次のように表した。 $72 \div 3 = 24$ の 24 は「商」です。 $67 \div 4 = 16$ あまり 3 の 16 は「商」で、3 は「あまり」です。 $3 + 2 = 5$ の 5 は「和」です。 $3 - 2 = 1$ の 1 は「差」です。 $3 \times 2 = 6$ の 6 は「積」です。	編集の具体的方針(1)	
44	絵	削除 変更	「算数たまたまばこ」の絵を削除し、次のように文章で表した。 「和」「差」「積」「商」には、次のような意味があります。 「和」・・・あわせる 4 本の花と 3 本の花を合わせたら何本かな。 「差」・・・ちがい 4 個のみかんと 2 個のりんごの違いは何個かな。 「積」・・・積み重ねる 1 箱に 3 個入っているプリンが 3 箱。全部で何個かな。 「商」・・・はかる 水差しポットに入っているジュースをコップに同じ量ずつはかって分けると何杯かな。	編集の具体的方針(1)	
45	筆算	変更	筆算の図は削除し、すべて横書きの式にした。	編集の具体的方針(6)	

46	図	変更	<p>(3)のゆうとの考えの中の図式，を次のように表した。</p> <p>ゆうとの考え 639を600と30と9に分ける。 $600 \div 3 = \square$ $30 \div 3 = \square$ $9 \div 3 = \square$ それぞれの式の答えをたすと□になる。 $639 \div 3 = \square$</p>	編集の具体的方針(1)
47	筆算	削除 変更	<p>筆算の仕方の説明と図を削除し，計算の仕方を次のように表した。</p> <p>739÷3の計算の仕方 (1)わられる数の100の位の7を3でわり，商の100の位に2を立てる。(だから100の位の商は200) (2)7から2・3が6の6をひく。わられる数の残りは139 (3)わられる数の13を3でわり，商の10の位に4を立てる。 (だから10の位の商は40) (4)13から4・3 12の12をひく。わられる数の残りは19 (5)わられる数の19を3でわり，商の1の位に6を立てる。 (だから1の位の商は6) (6)19から6・3 18の18をひく。わられる数の残りは1 (だからあまりは1) (7)(1)(3)(5)を合わせて $200 + 40 + 6 = 246$ (8)$67 \div 4 = 246$あまり1</p>	編集の具体的方針(6)
48	筆算	変更	3. の筆算の図を削除し，すべて横書き式にした。	編集の具体的方針(6)
49	筆算	削除 変更	<p>筆算の仕方の図は削除し，以下のように文章化した。</p> <p>136÷3の計算の仕方 (1)わられる数の100の位1を3でわる。商の100の位に何も立たない。 (2)13を3でわり，商の10の位に4を立てる。 (だから10の位の商は40) (3)13から4・3 12の12をひく。わられる数の残</p>	編集の具体的方針(6)

			<p>りは 16</p> <p>(4) わられる数の 16 を 3 でわり，商の 10 の位に 5 を立てる。</p> <p>(だから 1 の位の商は 5)</p> <p>(5) 16 から $5 \cdot 3$ 15 の 15 をひく。わられる数の残りは 1</p> <p>(だからあまりは 1)</p> <p>(6) (2)(4) を合わせると $40 + 5 = 45$</p>	
49	筆算	変更	<p>練習問題 6 の筆算の図を削除し，すべて横書きの式にした。</p>	編集の具体的方針(6)
50	筆算	削除 変更	<p>「しっかりチェック」は，筆算を削除し，次のように変更した。</p> <p>$72 \div 3$ の計算の仕方を説明しましょう。</p> <p>$72 \div 3$ の計算の仕方</p> <p>(1) わられる数の 10 の位の 7 を 3 でわり，商の 10 の位に (ア) を立てる。</p> <p>(2) 7 から (ア) $\times 3 =$ (イ) の (イ) をひく。わられる数の残りは (ウ)</p> <p>(3) わられる数の (ウ) を 3 でわり，商の 1 の位に (エ) を立てる。</p> <p>(4) (ウ) から (エ) $\times 3 = 12$ の 12 をひく。</p> <p>(5) $12 - 12 = 0$ (だから余りは 0)</p> <p>(6) 10 の位の商 (ア) と，1 の位の商 (エ) で 24</p> <p>(7) $72 \div 3 = 24$</p>	編集の具体的方針(6)
50	14	変更 削除	<p>筆算の図を削除し，3 の問題文を次のように変更した。</p> <p>次の文章は $783 \div 6$ の計算の仕方です。</p> <p>(3) の「18」はどのような数が 18 こあることを表していますか。</p> <p>(1) わられる数の 100 の位の 7 を 3 でわり，商の 100 の位に 1 を立てる。(だから 100 の位の商は 100)</p> <p>(2) 7 から $1 \cdot 6$ が 6 の 6 をひく。わられる数の残りは 183</p> <p>(3) わられる数の「18」を 6 でわり，商の 10 の位に 3 を立てる。</p> <p>(だから 10 の位の商は 3)</p> <p>(4) 18 から $3 \cdot 6$ 18 の 18 をひく。わられる数の残りは 3</p>	編集の具体的方針(6) (9)

			(5) 3は6でわれないので、商の1の位は0（だから1の位の商は0） (6) (1)(3)(5)を合わせて $100+30+0=130$ (7) $783 \div 6 = 130$ あまり 3	
51	図	削除 変更	クレアを考えの図を削除し、次のように表した。また、つばさがイメージしている図を削除した。 クレアの考え (1) 52を10を4こと、12に分ける。 (2) さらに12を4つに分けると、3が4こ (3) 10と3をたして13	編集の具体的方針(1)
51	筆算	変更	「学んだことを生かそう」の1において、筆算を削除し、式の形に変更した。原典教科書の式の中の□は点字の の字で表した。 (1) $\begin{array}{ccc} \cdot & \cdot & \cdot \\ \cdot & \cdot & \cdot \\ \cdot & \cdot & \cdot \end{array} \quad \begin{array}{ccc} \cdot & \cdot & \cdot \\ \cdot & \cdot & \cdot \\ \cdot & \cdot & \cdot \end{array} \quad \begin{array}{ccc} \cdot & \cdot & \cdot \\ \cdot & \cdot & \cdot \\ \cdot & \cdot & \cdot \end{array}$ (商は2桁) (2) $\begin{array}{ccc} \cdot & \cdot & \cdot \\ \cdot & \cdot & \cdot \\ \cdot & \cdot & \cdot \end{array} \quad \begin{array}{ccc} \cdot & \cdot & \cdot \\ \cdot & \cdot & \cdot \\ \cdot & \cdot & \cdot \end{array} \quad \begin{array}{ccc} \cdot & \cdot & \cdot \\ \cdot & \cdot & \cdot \\ \cdot & \cdot & \cdot \end{array}$ (商は3桁)	編集の具体的方針(6)
51	11 図	変更	「学んだことを生かそう」の2において、筆算が書かれたやぶれた紙の絵の図を削除し、問題文を次のように変更した。 次の□に入る数を求めましょう。 $\square \div 3 = 124$ あまり 1	編集の具体的方針(1) (9)
52～53	言葉	変更	「プログラミングにちょうせん！」については、筆算はない計算の手順のアルゴリズムとし、「おろす」という言葉について、すべて「下の位と合わせる」に変更した。	編集の具体的方針(6)
54	15	追加	練習問題1に「暗算で次の計算をしましょう。」を追加した。	編集の具体的方針(9)
55	写真	削除 変更	コンパスの写真を削除した。はさみと扇子は、それぞれ、閉じている時、開いている途中、開き切った時の3つの図について点図化した。	編集の具体的方針(1) できるだけ実物に触れながら学習することが望ましい。その際、はさみやコンパスの針にテープを貼るなど、安全面に配慮をする。
56	4 図	変更 追加	原典教科書287ページの円については、辺ABがかかれた円の図をかき、1. の文章を次のように変更した。それに伴い、2枚の円を重ねて回していく様子の図も掲載した。	編集の具体的方針(1) (9)

			<p>手触りの違う厚紙で，図3のような同じ大きさの円を2枚用意します。辺ABに切り込みを入れて2枚を重ねます。図4のようにAを中心に辺ACを回しているいろいろな角をつくりましょう。</p> <p>図3</p>  <p>図4</p> 	
56	12	変更	<p>練習問題2の文章を，次のように変更した。また，図の①～⑧の番号を，(ア)～(ク)に変更した。なお，(エ)の図において，原典教科書では，三角定規の直角の部分が当てられているが，点図に書き加えると読み取りにくくなるため，ラビちゃんのセリフを次のように追加して，補足するようにした。</p> <p>次の図の(ア)～(ク)までは，辺が1回転するときの角の大きさを表しています。(エ)の角の大きさを何といますか。</p> <p>ラビちゃん「三角定規を当ててみるといいね。」</p>	編集の具体的方針(1)
57	セリフ	追加 変更	<p>ラビちゃんとゆいのイメージ図に，セリフとして次の文章を追加した。</p> <p>ラビちゃん「半回転した時の角の大きさは，三角定規の直角部分を二つ重ねたものと同じ大きさになるね。」</p> <p>ゆい「三角定規を使って，図のように調べてみました。(ウ)の角は三角定規の角2つ分とあと少しだけど…」</p>	<p>編集の具体的方針(1)</p> <p>図の分かりにくさをセリフで補って，分かり易くなるようにした。</p>
58	写真 セリフ	変更 削除	<p>分度器の写真は，視覚障害者用分度器の図に変更した。その際，1°の幅を点図で表すことは不可能であるため，1°を省略した。また，視覚障害者用分度器には数値が書かれていないため，ラビちゃんのセリフを削除した。</p>	編集の具体的方針(1)
58～59	写真	変更	<p>「角度のはかり方」について，分度器の写真を削除し，$\angle CAB$を表す図と，$\angle CAB$に視覚障害者用分度器を合わせた図のみを点図化した。また，手順についても次のように変更した。</p>	編集の具体的方針(1)

			<p>角度のはかり方</p> <p>ラビちゃん「90° より大きいか小さいか、見当をつけてからはかろう。」</p> <p>次の図のア. の角の大きさをはかります。</p> <p>($\angle CAB$の図)</p> <p>(1)分度器の中心を頂点Aに合わせる。</p> <p>(2)分度器の0° の線を、辺ABに重ねる。</p> <p>(3)辺ACに重なる目もりを読む。0° の線と合わせた方から目もりを数えて読む。</p> <p>($\angle CAB$に視覚障害者用分度器を合わせた図)</p>	
60	10	削除	「よくあるまちがい」は、視覚障害者用分度器ではおこらないことなので削除した。	編集の具体的方針(9)
61	4	追加	「さらに考えよう」では、図を見ると1組の三角定規を組み合わせていることがわかるが、触ってそれを読み取るとは難しいため、文章の冒頭に、「次の図は1組の三角定規を組み合わせています。」を追加した。	編集の具体的方針(1)
62	セリフ	変更	<p>図を理解しやすいように、ゆうととゆいのセリフを次のように変更した。また、ゆうとのセリフは、ゆうとの考えの中に入れ、ゆいのセリフはりなの考えの前に入れた。</p> <p>ゆうとの考え</p> <p>ぼくは、ア. の角を分けて考えました。次の図で点線より上の部分は180° なので、180° とイ. の角に分けて…</p> $180^\circ + \text{イ.} = \square$ <p>ゆい「りなさんは、次の図のように1回転した時の角度(360°)からウ. の角を…」</p>	編集の具体的方針(1)
64	図	変更	作図のしやすさを考慮し、三角形の底辺5cmを7cmに変更した。	編集の具体的方針(9)
64	図	削除 変更	<p>「三角形のかき方」の図を削除し、文章のみで表した。また、ラビちゃんのセリフも変更した。</p> <p>(1)長さ7cmの辺ABをかく。</p> <p>(2)Aを頂点として40° の角をかく。</p> <p>(3)Bを頂点として55° の角をかく。直線が交わる点をCとする。</p> <p>ラビちゃん「かいた三角形と三角形ABCが、形も大きさも同じようになっているかな。」</p>	編集の具体的方針(1)

64	16	変更	<p>練習問題3のラビちゃんのセリフを、次のように変更した。</p> <p>ラビちゃん「どうかけばよいか説明できるかな。」</p>	編集の具体的方針(9)
65	図	削除 変更	<p>分度器で角をはかっている様子の図を削除し、$\angle C$ ABの図と、次の文章で表した。</p> <p>分度器を使って次の図のア. の角度をはかります。次の□に当てはまる記号や数字を入れて、文を完成させましょう。</p>	編集の具体的方針(1)
65	9	追加	<p>たしかめ問題2では、図を見ると1組の三角定規を組み合わせていることがわかるが、触ってそれを読み取ることは難しいため、文章の冒頭に、「次の図は1組の三角定規を組み合わせています。」を追加した。</p>	編集の具体的方針(1)
67	文章	追加	<p>そろばんと関係付けて学習することを強調するために、次の文章を追加した。</p> <p>この単元では、珠算編2の「3かけ算 2かけ算(2)」を使って、そろばんでの計算の仕方を考えましょう。</p>	編集の具体的方針(7)
67	絵	削除 変更	<p>絵を削除し、次のように表した。</p> <p>りょうたさんとさよこさんは、日本の小学生の人数や東京都の人口、世界の国の人口について調べました。</p>	編集の具体的方針(5)
67~71	図	変更	<p>位を表す図について、p67の(1)は各位ごとに〇〇の位と書かれている部分をすべて示したが、p68以降は、すべてを書くとも情報量が多く読み取りにくいいため、読みやすさを考慮し、新出の位である億や兆の位のみ示すことにした。</p> <p>例 1 2 6 1 6 6 9 4 8 : 1億の位</p>	編集の具体的方針(1)
68	図	変更	<p>青囲みの中の数字の読み方を表した図は、次のように表した。</p> <p>3 2 9 0 6 4 9 1 7 億 万</p>	編集の具体的方針(1)
69~71	図	変更	<p>(1)において、矢印による表記を、次のように表した。</p>	編集の具体的方針(1)

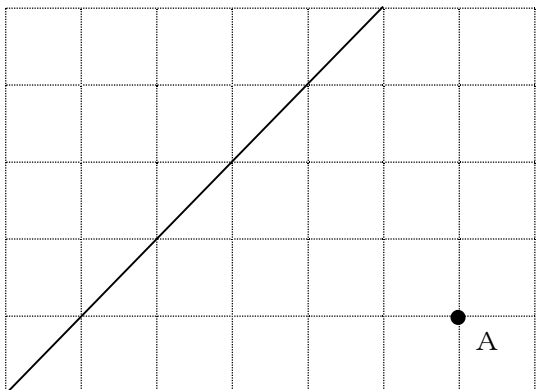
			<p>1億の10倍は(ア)億 1億の100倍は(イ)億 1億の1000倍は(ウ)億 (ア)億の10倍は(イ)億 (イ)億の10倍は(ウ)億</p> <p>P71(4)の兆の位においても、同様に変更した。</p>	
70	絵表	削除 変更	<p>3. の絵と表を削除し、文章を次のように変更した。</p> <p>次の(ア)(イ)の数は、炊事・お風呂・花壇の水撒きなど、日本で生活に使われた水の量(L)をあらわしています。</p> <p>次の(ア)(イ)の数の読み方を調べましょう。</p> <p>(ア) 6930191000000L (1970年) (イ) 12983626000000L (2018年)</p>	編集の具体的方針(5)
71	12 絵	変更 削除	<p>「算数たまたまばこ」の絵を削除し、文章を次のように変更した。</p> <p>広告に「自転車の値段は22,800円です。」と書いてあります。</p> <p>大きな数は、22,800のように3けたごとに区切って表す場合があります。</p> <p>ラビちゃん「p〇～〇のお話も読んでみよう。」</p>	編集の具体的方針(5)
72	表	削除	<p>(1)について、表に書き込むことはできないため、表を削除し、文章を「それぞれの数を書きましょう。」のみとした。</p>	編集の具体的方針(9)
73	図	変更	<p>(2)の図式を、次のように文章で表した。</p> <p>□にあてはまる数を答えましょう。</p> <p>1が□こ分で10 10が□こ分で100 100が□こ分で1000</p> <p>ラビちゃん「数が大きくなっても… 10000が□こ分で100000 100000が□こ分で1000000 と考えればいいね。」</p>	編集の具体的方針(1)
75	筆算	削除 変更	<p>(1)の筆算の仕方の説明と図を削除し、計算の仕方を次のように表した。</p>	編集の具体的方針(6)

				<p>156×324 の計算の仕方を説明しましょう。</p> <p>100 の位は 3 なので、$156 \times 300 = 46800$</p> <p>10 の位は 2 なので、$156 \times 20 = 3120$</p> <p>1 の位は 4 なので、$156 \times 4 = 624$</p> <p>$46800 + 3120 + 624 = 50544$</p> <p>$156 \times 324 = 50544$ 答え 50544 円</p>	
75	筆算	削除 変更	<p>「さらに考えよう」の筆算を削除し、次のように表した。</p> <p>ゆうとさんは、256×304 を次のように工夫して計算しました。</p> <p>100 の位は 3 なので、$256 \times 300 = 76800$</p> <p>10 の位は 0 なので、計算しません。</p> <p>1 の位は 4 なので、$256 \times 4 = 1024$</p> <p>$76800 + 1024 = 77824$</p> <p>$256 \times 304 = 77824$</p> <p>ゆうとさんは、どのように工夫したか説明しましょう。</p>	編集の具体的方針(6)	
76	1 筆算	変更 削除	<p>2. の筆算を削除し、文章を次のように変更した。</p> <p>273×600 の計算は、273×6 を計算し、答えを 100 倍して出すことができます。このように計算してよいわけを説明しましょう。</p>	編集の具体的方針(6)	
77	19	削除 変更	<p>5. の「よくあるまちがい」は筆算の方法であるため削除し、問題文を次のように変更した。</p> <p>158×302 の計算の仕方を説明しましょう。</p>	編集の具体的方針(6)	
80～81	表	変更	<p>「ふくろう先生のなるほど算数教室」の 1 の表は、日本語と英語の読み方を削除し、数字とアルファベットのみとした。</p> <p>2 の表も、日本語と英語の読み方を削除し、数字とアルファベットのみとした。その際、数字の下に英語をかき、縦に並べるようにした。</p> <p>3 桁ごとの英語読み変化が分かりやすいように、3 桁ごとに区切りの線を入れるようにした。</p>	編集の具体的方針(1)	
82	絵	削除 変更	<p>買い物の絵を削除し、次のように表した。</p> <p>はるとさんとみづきさんは、1000 円を持ってそれぞれ買い物に行きました。</p> <p>はるとさんは、最初本屋で 600 円の本を買いました。次にスーパーマーケットに行って 360 円のお菓子</p>	編集の具体的方針(5)	

			<p>を買いました。</p> <p>はると「いくら残っているかな。」</p> <p>みづきさんは、コンビニエンスストアに行き、600円の本と360円のお菓子を一緒に買いました。</p> <p>みづき「いくら残っているかな。」</p>	
84	セリフ 図	削除 変更	<p>(6)のラビちゃんのセリフは、墨字での書き方に関する事なので削除した。また、計算の仕方の順の説明を、次のように表した。</p> $1000 - (600 + 360) = 1000 - 960 = 40$ <p>ア. 初めに $600 + 360$ をする。</p> <p>イ. 次に $1000 - (\text{ア. の答え})$ をする。</p>	編集の具体的方針(1)
86	図	追加	<p>(2)のラビちゃんのイメージ図を、次のようにセリフで表した。</p> <p>ラビちゃん「$400 - 120 \times 3$ は、先に 120×3 を計算して、その答えを400から引けばいいね。」</p>	編集の具体的方針(1)
87	図	変更	<p>$16 - (8 + 4 \div 2)$ の順序を表す図式を、次のように表した。</p> $16 - (8 + 4 \div 2)$ <p>ア. 初めに $4 \div 2$ を計算する。</p> <p>イ. 次に $8 + (\text{ア. の答え})$ を計算する。</p> $16 - (8 + 4 \div 2)$ $= 16 - (8 + \square)$ $= 16 - \square$ $= \square$	編集の具体的方針(1)
87	図	変更	<p>「さらに考えよう」の図式を、次のように表した。</p> <ol style="list-style-type: none"> $16 \div 8 + 4 \times 2$ ア. 初めに $16 \div 8$ を計算する。 イ. 次に 4×2 を計算する。 $1 - 8 \div 4 \times 2$ ア. 初めに $8 \div 4$ を計算する。 イ. 次に $(\text{ア. の答え}) \times 2$ を計算する。 	編集の具体的方針(1)
88~89	記号	変更	<p>○, △, □の式は、○を(フ), △を(ム), □を(マ)で表した。</p>	編集の具体的方針(8)
90	図	変更	<p>「しっかりチェック」の図式の部分を、次のように表した。</p> <ol style="list-style-type: none"> $1000 - (600 + 360)$ 	編集の具体的方針(1)

			<p>ア. 初めに $600+360$ を計算する。</p> <p>イ. 次に $1000-(ア. の答え)$ を計算する。</p> $1000-(600+360)$ $=\square-\square$ $=\square$ <p>2. $400-120\times 3$</p> <p>ア. 初めに 120×3 を計算する。</p> <p>イ. 次に $400-(ア. の答え)$ を計算する。</p> $400-120\times 3$ $=\square-\square$ $=\square$	
90	11	変更	<p>1の「ゆいさんたちは」を「ゆいさん、つばささん、ゆうとさんは」に変更した。</p>	編集の具体的方針(5)
92	写真	変更追加	<p>次の文章を追加し、空から見た地形の様子を点図化した。</p> <p>次の図1は、茨城県北茨城市の様子を上空からみたものです。どんな線や形があるか見つけてみよう。</p>	編集の具体的方針(1) (5)
92	セリフ	変更	<p>右下の女の子のセリフを「道に直線を書き込むと分かりやすいね。」と変更した。</p>	編集の具体的方針(12)
93	絵	変更	<p>絵地図は、道を表す線だけを点図化した。</p> <p><u>本單元における絵地図は、同様に点図化した。</u></p>	編集の具体的方針(1) (5)
94	セリフ	変更	<p>ラビちゃんのセリフを次のように変更した。</p> <p>ラビちゃん「図5～図7のように、2本の直線が交わったところにある小さな四角形は直角を表しているよ。」</p>	編集の具体的方針(1)
95	写真	削除追加	<p>黒板の角を調べている写真を削除し、練習問題3に次の文章を追加した。</p> <p>例えば、黒板の角の部分に三角定規の直角の部分当ててみましょう。</p>	編集の具体的方針(5)
95	13	変更	<p>「算数たまたまばこ」の文章を次のように変更した。</p> <p>垂直の「垂」には、「垂れ下がる」という意味があります。</p> <p>垂直の「直」には、「まっすぐ」という意味があります。</p>	編集の具体的方針(13)
96～97	写真	削除変更	<p>「垂直な直線のひき方」について、手や鉛筆の様子を削除し、三角定規と直線のみを4つの点図で表し</p>	編集の具体的方針(1) (5)

			<p>た。また、説明文を次のように変更した。</p> <p>垂直な直線のひき方</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 直線(ア)に三角定規を合わせる。 2 1の三角定規を押さえながら、もう1枚の三角定規の直角のある辺を下の三角定規に合わせる。 3 一方の手で2枚の三角定規をおさえて、もう一方の手でペンを持ち、2枚の三角定規をしっかりとおさえながら、たてに直線を引く。 4 直線(ア)に垂直な線が引けた。 	<p>図の触察や説明だけでは三角定規の動きが理解しづらいため、実際に操作をしながら学習を進めるようにしたい。</p>
97	1	変更	<p>練習問題4の文章を次のように変更した。</p> <p>次の(1)(2)の直線サ. に垂直な直線を3本かくときのかき方を説明しましょう。</p>	編集の具体的方針(9)
99	セリフ	追加	<p>ラビちゃんのセリフの図について、上の線をア. 下の線をイ. とした上で、補足説明を次のように追加した。</p> <p>ラビちゃん「2本の平行な直線の間引いた垂直な直線の長さを幅というよ。図25では、ア. とイ. の間の線のことだよ。」</p>	編集の具体的方針(1)
100	1 図	変更	<p>位置を分かりやすくするために、交わっている直線に記号ウ. を追加し、3. の文章を次のように変更した。</p> <p>図では、2本の平行な直線ア. とイ. に、1本の直線ウ. が交わっています。</p>	編集の具体的方針(1)
100	6 図	変更	<p>位置を分かりやすくするために、交わっている直線に記号エ. オ. を追加し、(2)の文章を次のように変更した。</p> <p>直線ア. とイ. と直線エ. オ. が交わる角度を調べましょう。</p>	編集の具体的方針(1)

101	図	変更	<p>方眼を触って確認できるよう，次のような図に変更した。</p> 	編集の具体的方針(1)
101	写真	削除 追加	<p>小学校の入り口の写真を削除し，練習問題4に次の文章を追加した。</p> <p>例えば，窓の枠の左右や上下を同時にたどって調べてみましょう。</p>	編集の具体的方針(5)
102～ 103	写真 セリフ	削除 変更	<p>「平行な直線のひき方」について，P96の「垂直な直線のひき方」と同様に，手や鉛筆の様子を削除し，三角定規と直線のみを5つの点図で表した。また，説明文およびラビちゃんのセリフを次のように変更した。</p> <p>平行な直線のひき方</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 直線(ア)に三角定規の直角のある辺を合わせる。 2 1の三角定規を押さえながら，もう1枚の三角定規を合わせる。 3 1の三角定規を，もう1枚の三角定規の辺にそって下に動かす。 4 一方の手で2枚の三角定規をおさえて，もう一方の手でペンを持ち，2枚の三角定規をしっかりとさえながら，横に直線を引く。 5 直線(ア)に平行な直線がひけた。 <p>ラビちゃん「2本の直線が左側の三角じょうぎの辺に垂直だから，平行になるんだね。片手で2枚の三角定規を押さえるかわりにピンを使っていいね。」</p>	<p>編集の具体的方針(1) (5)</p> <p>図の触察や説明だけでは三角定規の動きが理解しづらいため，実際に操作をしながら学習を進めるようにしたい。</p>
103	1	変更	<p>練習問題5の文章を次のように変更した。</p> <p>次の直線サ．に平行な直線を3本かくときのかき方を説明しましょう。</p>	編集の具体的方針(9)
104	図	削除	<p>点と点を結ぶ活動のための図は，1つだけを点図で表した。</p>	編集の具体的方針(1) (10)

				実際には、教科書で活動するのではなく、この図をもとに表面作図器などに小さいシールなどで点を表し、いろいろな四角形を実際にかく活動をするとよい。
106	図	削除 変更	ア. ～カ. の四角形の図を削除し、仲間分けは次のように記号のみで表した。 次のゆうとさんの分け方を説明しましょう。 ゆうとさんの分け方 (1)ウ. (2)ア. カ. (3)イ. エ. オ.	編集の具体的方針(1)
107	セリフ	追加	練習問題3のゆいのイメージ図について、次の文章を追加した。 ゆい「図のように三角定規を下の線に合わせ、それに垂直になるように、もう一つの三角定規を組み合わせる。上の三角定規を動かすと長方形がかけそうだね。」	編集の具体的方針(1) (10)
108	図		3. の右側の平行四辺形については、分度器を当てる際は、短い辺に0度の線を合わせると角度が測りやすい。	
109	4 図	追加 削除	(1)について、辺BCと辺ABのかき方は図で示されているだけであるが、図から手順を読み取ることは困難であるため、次のように文章を追加した。また、図の中の分度器は削除し、線分のみを点図化した。 次の図のように、辺BCと辺ABをかきました。 はじめに辺BCを5cmの長さでかきます。次に分度器で70°をはかり、辺ABを4cmの長さでかきます。	編集の具体的方針(1)
109	図	追加	クレアの考えの図について、それぞれの図で三角定規をスライドさせる前と後に分けて点図化した。	編集の具体的方針(1)
110	絵	変更	ラビちゃんがコンパスを持っている絵を、次のように文章で表した。 ラビちゃん「コンパスを使って比べてもいいね。」	編集の具体的方針(5)
110	9 絵	変更 削除	練習問題2の「次のようにして」を、「次のようにコンパスを使って」に変更し、作図の線だけを確認で	編集の具体的方針(5)

			きるよう、図の中のコンパスの絵を削除した。 なお、練習問題3の中のコンパスの絵も削除した。	
110	図	削除 追加	練習問題3のラビちゃんのセリフの図を削除し、次のような文章で表した。 ラビちゃん「円を二つ重ねて書き、円の中心と円の重なった点を線で結ぶと、ひし形がかけるんだね。」	編集の具体的方針(5)
111	写真 セリフ	削除 変更	(4)のひし形の辺や角を調べている様子の写真を削除し、写真の後のラビちゃんのセリフを次のように変更した。 ラビちゃん「三角定規や分度器を使ったり、紙を切り取って折ったりするなど、いろいろな方法で調べてみよう。」	編集の具体的方針(5) (9)
111	図	変更 追加	「発見！」のひし形の図の中にかかれた「平行」の言葉と矢印を削除し、向かい合う辺を同じ太さの線で表し、隣り合う辺は太さが異なるようにした。その上で、図の中に、「太さの同じ辺は平行です。」を追加した。	編集の具体的方針(1)
112	1 図	変更	1. の図は、はさみの絵を削除し、切る部分にA、Bの記号を入れた。また、1. の文章を「点線にそって」を「線ABにそって」に変更した。	編集の具体的方針(1)
112	図	変更	練習問題1のひし形は、図の中に書かれている2cmと3cmはどの部分をさしているのか読み取りづらいため、図の中には入れず、問題文を次のように変更した。 図のひし形で直線ACは2cm、直線BEは3cmです。次の直線の長さは何cmですか。	編集の具体的方針(1)
113	表	削除 変更	表を削除して、表の内容を次の文章で表した。 次のア.～オ.の四角形について対角線の特徴をまとめます。あとの(1)～(3)の特徴がいつでも当てはまる場合は、四角形の名前をかいた後にその番号をかいてまとめましょう。 ア. 台形 イ. 平行四辺形 ウ. ひし形 エ. 長方形 オ. 正方形	編集の具体的方針(1)

			(1) 2本の対角線の長さが等しい (2) 2本の対角線が垂直である (3) 2本の対角線がそれぞれの真ん中の点で交わる	
115	セリフ	変更	原典教科書 p289 の巻末教材は掲載せず、ラビちゃんのセリフを次のように変更した。 ラビちゃん「それぞれの形を厚紙で10枚くらい用意するといいね。」	編集の具体的方針(1) 厚紙の代わりに板磁石を使い、固定しやすい教材を作ってもよい。
115	セリフ 図	変更	りなとつばさのセリフを図に合わせて次のように変更した。 りな「図ア. 中には、次の図79のようにいろいろな大きさの平行四辺形が見つかるね。」 つばさ「台形2つで図80の形になるね。この四角形は…」	編集の具体的方針(1)
116	10	変更	1. の問題文を次のように変更した。 次の図で、点Aを通過して、直線ア. に垂直な直線と平行な直線をかき方法を説明しましょう。	編集の具体的方針(10)
117	図	追加	クレアの台形のかき方の図ア. イ. ウ. の前に、それぞれ次の文章を追加した。 ア. 6 cm, 4 cm, 75° の図をかき。 イ. 反対の角の大きさも分度器を使って測り、線を引き。 ウ. 三角定規を6 cmの辺にあて、左側に6 cmと垂直になるようにもう一つの三角定規を置く。最初の三角定規を上をスライドさせて4 cmのところまで横に線を引き。	編集の具体的方針(1)
117	15～ 18	変更	「学んだことを生かそう」の1. (I)～(4)の→は省略し、記号を順番に並べた。	編集の具体的方針(9)
118	写真 本文	削除 変更	「なるほど算数教室」の写真や図を削除し、本文を次のように変更した。 パーティーのかざりつけをするときなどに、次の図のような長方形を丸めて、輪かざりを作ったことがある人も多いと思います。この輪を使って、いろいろな形をつくってみましょう。 輪の作り方 (1) 図のように長方形の短い辺を真ん中で折って長	編集の具体的方針(1) 原典教科書の写真が示すとおり、点線で切る方法では切る場所がわからないため、折り目をつけ付けてから輪を作ったのり付けをし、折り目にそってはさみで切る方法へと変更した。

			<p>い折り目を付けます。</p> <p>(2) (1) の長方形を輪にしてのりづけします。</p> <p>上記の変更に伴い、問題文 1 と 2 も次のように変更した。</p> <p>1 同じ大きさの 2 つの輪を垂直に貼りつけ付けて折り目に沿って切ってみましょう。どのような形ができるでしょうか。</p> <p>2 小さい輪と大きい輪を作り、垂直に貼りつけ付けて折り目に沿って切ると、どのような形ができるでしょうか。</p> <p>(3, 4 は変更なし)</p>	
120	絵	削除 追加	<p>遊園地の絵を削除し、絵の様子、看板、会話などを次のように表した。</p> <p>遊園地に遊びに来ました。</p> <p>チケット売り場には、入園料子ども 950 円、大人 1500 円と書いてあります。</p> <p>ジェットコースター乗り場では、行列ができています。</p> <p>係員「1 台に 10 人ずつ乗れます。」</p> <p>並んでいる人「前に 10 人くらい並んでいるね。」</p> <p>案内の看板があります。</p> <p>フラワーパーク</p> <p>左におよそ 900m 先 5 万株のチューリップ</p> <p>水族館</p> <p>右におよそ 500m 先 10 万びきの魚</p> <p>観覧車乗り場では、待ち時間 5 分とかいてあります。</p> <p>時計を見ている女の子「パレードまであとちょうど 5 分だ。」</p> <p>ポップコーン売り場では、1 つ 300 円のはり紙があります。</p> <p>並んでいる子ども「おさいふには 300 円くらい入っているよ。」</p> <p>ラビちゃん「どちらも 300 円だけど、どんなちがいがああるかな。」</p>	編集の具体的方針(5)

121	絵	削除 追加	<p>スタッフが会話している様子を表した絵を削除し、最初の文章を次のように変更した。また、二人のスタッフをスタッフAとスタッフBとした。</p> <p>遊園地の入園者数がふえていることをアピールする方法を考えています。</p>	編集の具体的方針(5)
121	絵 本文	変更	絵を使った表で、人の形に色を塗る問題を○の形に印をつけ付ける方法に変更した。	編集の具体的方針(1) シールを貼るなどして印が分かるようにする。
123	図	変更	(4)の数直線を「3000～4000 までの数直線」と「3500 の近くを拡大した数直線」の2つに分けて示した。	編集の具体的方針(1)
123	図	削除 変更	<p>四捨五入のまとめの図を削除し、次の文章で表した。</p> <p>3271…百の位が2だから切り捨てる。(はしたの271を全部0にすることを「切り捨てる」といいます。)</p> <p>3659…百の位が6だから切り上げる。(はしたの659を1000にすることを「切り上げる」といいます。)</p>	編集の具体的方針(1)
124	図	変更	<p>青囲みの中の図を削除し、次の文章で表した。</p> <p>例えば、31248を30000にしたり、457602を460000にしたりすることです。</p>	編集の具体的方針(1)
124	図 8	削除 変更	(1)で、23641のどの部分が1万のくらいまでにあたるのかを示した図を削除し、問題文の冒頭を「23641を1万の位までのがい数にするには」に変更した。	編集の具体的方針(1)
124	図	削除	「さらに考えよう」で、23641のどの部分が千の位までにあたるのかを示した図を削除した。	編集の具体的方針(1)
124	図	削除 変更	<p>「発見！」の図を削除して、次の文章で表した。</p> <p>例えば、23641を1万の位までのがい数にするには、1つ下の1000の位の3を四捨五入して2000にします。</p> <p>また、23641を千の位までのがい数にするには、1つ下の百の位の6を四捨五入して24000にします。</p>	編集の具体的方針(1)
125	図	変更	<p>青囲みの中の図を削除し、次の文章で表した。</p> <p>例えば、31248を31000にしたり、457602を460000にしたりすることです。</p>	編集の具体的方針(1)
125	図	削除 変更	(1)(2)の23641の上から2けたや3けたを表す①②③の丸数字は削除し、ラビちゃんのセリフに直して次のように変更した。	編集の具体的方針(1)

			<p>ラビちゃん「上から2桁は、23641の2, 3の部分だね。」</p> <p>ラビちゃん「上から3桁は、23641の2, 3, 6の部分だね。」</p>	
125	図	削除 変更	<p>「発見！」の図を削除して、次の文章で表した。</p> <p>例えば、23641を上から2桁のがい数にするには、概数にしたい位の1つ下の3桁目の6を四捨五入して24000にします。</p> <p>また、23641を上から3桁のがい数にするには、概数にしたい位の1つ下の4桁目の4を四捨五入して23600にします。</p>	編集の具体的方針(1)
126	表	削除 変更	<p>がい数の表し方と、四捨五入する位のまとめの表を削除し、次の文章で表した。</p> <p>がい数の表し方と、四捨五入する位をまとめると、次のようになります。</p> <p>千の位までのがい数にするときは、四捨五入する位は百の位です。例えば、14832ならば、百の位の8を四捨五入して15000になります。</p> <p>上から2けた桁のがい数にするときは、四捨五入する位は上から3けた桁目の位です。例えば14832ならば、上から2けた桁は1, 4で、3けた桁目の8を四捨五入して15000になります。</p>	編集の具体的方針(1)
127	8	変更	<p>原典教科書では、5, の文章と見開きの位置関係であるが、点字教科書では複数ページが間に入り、内容を確認するまでに時間を要するため、「5. の数のはんい」を「四捨五入して100の位までのがい数にしたとき、200になる整数のはんいは」に変更した。</p>	編集の具体的方針(9)
129	11	変更	<p>クレアの考えの式の中の斜線を省略し、次のように表した。</p> <p>クレアの考え</p> $34067 + 48279 + 40923 = 123269$ <p>3269を・・・</p> <p>答え 約12万人</p>	編集の具体的方針(1)
131	絵	削除 変更	<p>スーパーマーケットの絵と営業時間は削除し、絵の内容を次の文章で表した。</p> <p>友達が遊びに来るので、スーパーマーケットにおや</p>	編集の具体的方針(1)

			<p>つを買いに行きました。入口に「1000円以上買うと、福引きが1回できます。」と書いてあります。</p> <hr/> <p>スーパーマーケットに売っているもの</p> <p>パン</p> <p>クリームパン 140円</p> <p>あんパン 170円</p> <p>食パン 280円</p> <p>おかし</p> <p>アイスクリーム 280円</p> <p>クッキー 230円</p> <p>ケーキ 630円</p> <p>やさい</p> <p>トマト 310円</p> <p>レタス 150円</p> <p>にんじん 230円</p> <p>くだもの</p> <p>みかん 240円</p> <p>りんご 390円</p> <p>バナナ 110円</p> <p>もも 430円</p> <hr/>	
132	図	変更	<p>つばさと先生の考え方の図を、次のように表した。</p> <p>つばさの考え</p> <p>390は400, 230は300, 630は700, 280は300にして、</p> $400 + 300 + 700 + 300 = 1700$ <p>1700円もっていけばいい。</p> <p>つばさ「ぼくは、切り上げて考えました。どうしてかというところ・・・」</p> <p>先生「先生のような方法はどうか。」</p> <p>390は400, 230は200, 630は600, 280は300にして、</p> $400 + 200 + 600 + 300 = 1500$ <p>1500円もっていけばいい。</p> <p>りな「先生の方法だとじっさいの代金に近くなるけど・・・」</p>	編集の具体的方針(1)
132	2	追加	「さらに考えよう」の野菜や果物の絵を削除し、名	編集の具体的方針(5)

	絵	削除	前と値段のみとした。また、冒頭に、「1000円以上買うと福引きが1回できます。」を追加することで、図の右上の情報を削除した。	
133	図 セリ フ	削除 変更	<p>しっかりチェックの図を削除し、ラビちゃんのセリフを次のように変更した。</p> <p>ラビちゃん「千の位までのがい数は、1つ下の百の位で四捨五入するんだっただね。上から3桁のがい数は、1つ下の4桁目の位で四捨五入するんだっただね。」</p>	編集の具体的方針(1)
133	表	削除 変更	<p>2. の表を削除し、次の文章で表した。</p> <p>次の数を、ア. イ. のようながい数にしましょう。</p> <p>ア. 1万の位までのがい数 イ. 上から2桁のがい数</p> <p>1. 48276 2. 133270 3. 5955061</p>	編集の具体的方針(1)
134	3	変更	<p>4つの品物の値段は問題文中に入れ、問題文を次のように変更した。</p> <p>次の4つの品物を買うときの代金を見積もります。</p> <p>本 540円 ペン 250円 消しゴム 120円 ノート 270円</p> <p>クレアさんとカルロスさんは次のように考えました。ふたりに合う見積もりのしかたを、それぞれア. ~ウ. から選びましょう。</p> <p>クレア「1000円より高くなるか調べたいな。」 カルロス「1500円で足りるか調べたいな。」</p> <p>ア. $600+300+200+300$ イ. $500+300+100+300$ ウ. $500+200+100+200$</p>	編集の具体的方針(1)
135	文章	追加	そろばんと関係付けて学習することを強調するために、次の文章を追加した。	編集の具体的方針(7)

				この単元では、珠算編2の「4わり算2わり算(2)」を使って、そろばんでの計算の仕方を考えましょう。	
135	絵	削除 変更		黒板の絵を削除し、黒板に書かれた問題の前に「先生が黒板に問題を書いています。」と入れた。	編集の具体的方針(5)
136	絵 図	削除 変更		<p>黒板の絵と児童の絵を削除し、次のように表した。</p> <p>黒板にはカルロスさんとゆいさんの考えが書いてあります。</p> <p>カルロスの考え</p> <p>図</p>  <p>図のように考えると</p> $6 \div 2 = 3$ <p>だから、3人に分けられる。</p> <p>ゆいの考え</p> <p>60は10が6こ分、 20は10が2こだから、</p> $6 \div 2 = 3$ <p>だから、3人に分けられる。</p>	編集の具体的方針(1)
139	筆算	削除 変更		<p>筆算の仕方の説明と図を削除し、計算の仕方を次のように表した。また、商の位の立て方についてラビちゃんのセリフを追加した。</p> <p>63÷21の計算は、次のようにします。</p> <p>63÷21の計算の仕方</p> <p>(1)商が立つ位を決める。商は1の位に立つ。 (2)わる数の21を20とみて、商の見当をつける。 商3をたてる。(だから1の位の商は3) (3)3×21=63 (4)63-63=0(だからあまりはない) (5)63÷21=3</p>	編集の具体的方針(6)
140	筆算	削除 変更		<p>筆算の仕方の図を削除し、計算の仕方を次のように表した。</p> <p>93÷34の計算は、次のようにします。</p> <p>93÷24の計算の仕方</p> <p>(1)商が立つ位を決める。商は1の位に立つ。</p>	編集の具体的方針(6)

			<p>(2) 商3をたてる。 $3 \times 34 = 102$ 93 から 102 はひけない。</p> <p>(3) 商を1小さくして2を立てる。(だから1の位の商は2) $2 \times 34 = 68$</p> <p>(4) $93 - 68 = 25$</p> <p>(5) $93 \div 34 = 2$ あまり 25</p>	
140	筆算	削除 変更	<p>筆算の仕方の図を削除し、計算の仕方を次のように表した。</p> <p>$84 \div 13$ の計算は、次のようにします。 $84 \div 13$ の計算の仕方</p> <p>(1) 商が立つ位を決める。商は1の位に立つ。</p> <p>(2) 商8をたてる。 $8 \times 13 = 104$ 84 から 104 はひけない。</p> <p>(3) 商を1小さくして7を立てる。 $7 \times 13 = 91$ 84 から 91 はひけない。</p> <p>(4) 商を1小さくして6を立てる。(だから1の位の商は6) $6 \times 13 = 78$</p> <p>(5) $84 - 78 = 6$</p> <p>(6) $84 \div 13 = 6$ あまり 6</p>	編集の具体的方針(6)
141	筆算	削除 変更	<p>筆算の仕方の図を削除し、計算の仕方を次のように表した。</p> <p>$85 \div 27$ の計算は、次のようにします。 $85 \div 27$ の計算の仕方</p> <p>(1) 商が立つ位を決める。商は1の位に立つ。</p> <p>(2) 商2をたてる。 $2 \times 27 = 54$ $85 - 54 = 31$ まだ 27 をひける。</p> <p>(3) 商を1大きくして3を立てる。(だから1の位の商は3) $3 \times 27 = 81$ $85 - 81 = 4$ (だからあまりは4)</p> <p>(4) $85 \div 27 = 3$ あまり 4</p>	編集の具体的方針(6)
141	筆算	削除	筆算の仕方の図を削除し、計算の仕方を次のように	編集の具体的方針(6)

		変更	<p>表した。</p> <p>$94 \div 15$ の計算は、次のようにします。</p> <p>$94 \div 15$ の計算の仕方</p> <p>(1) 商が立つ位を決める。商は 1 の位に立つ。</p> <p>(2) 商 4 をたてる。</p> $4 \times 15 = 60$ $94 - 60 = 34$ <p>まだ 15 をひける。</p> <p>(3) 商を 1 大きくして 5 を立てる。</p> $5 \times 15 = 75$ $94 - 75 = 19$ <p>まだ 15 をひける。</p> <p>(4) 商を 1 大きくして 6 を立てる。(だから 1 の位の商は 6)</p> $6 \times 15 = 90$ $94 - 90 = 4 \text{ (だからあまりは 4)}$ <p>(5) $94 \div 15 = 6$ あまり 4</p>	
142	筆算	削除 変更	<p>筆算の仕方の図を削除し、計算の仕方を次のように表した。</p> <p>商の見当のつけ方</p> <p>商の見当をつけるときは、わる数を何十とみると、考えやすくなります。</p> <p>(方法 1) わる数を四捨五入して何十とみる。</p> <p>$85 \div 27$ の計算では、わる数の 27 を 30 とみて $85 \div 30$ として考える。</p> <p>他にも次のような方法があります。</p> <p>(方法 2) わられる数とわる数の 1 の位を 0 とみる。</p> <p>$85 \div 27$ の計算では、$80 \div 20$ として考える。</p> <p>クレア「10 の位だけ見ればいいから考えやすいね。」</p> <p>(方法 3) わられる数とわる数を四捨五入して何十とみる。</p> <p>$85 \div 27$ の計算では $90 \div 30$ として考える。</p> <p>カルロス「ぼくは方法 3 の方が考えやすいな。」</p>	編集の具体的方針(6)
144	筆算	削除 変更	<p>筆算の仕方の説明と図を削除し、計算の仕方を次のように表した。</p> <p>$483 \div 21$ の計算の仕方</p> <p>(1) 商が立つ位を決める。商は 10 の位に立つ。</p> <p>(2) わる数の 21 を 20 とみて商の見当をつける。商 2</p>	編集の具体的方針(6)

			<p>をたてる。(だから10の位の商は2)</p> $20 \times 21 = 420$ $483 - 420 = 63$ <p>(3) $63 \div 21$ の計算をする。1の位に商3を立てる。 (だから1の位の商は3)</p> <p>(4) 63から 3×21 の63をひく。残りは0(だからあまりはない)</p> <p>(5) (2)(3)を合わせて23</p> <p>(6) $483 \div 21 = 23$</p>	
145	筆算	削除 変更	<p>3. で筆算の仕方を説明する問いを、次のように式と答えのみとした。</p> <p>次の計算の仕方を説明しましょう。</p> <p>(1) $342 \div 21 = 16$ あまり6</p> <p>(2) $870 \div 43 = 20$ あまり10</p>	編集の具体的方針(6)
145	筆算	削除 変更	<p>練習問題6の筆算のまちがいを見つけて正しく計算する問題は、横書きの式にした。</p> $561 \div 27 = 2 \text{ あまり } 21$	編集の具体的方針(6)
146	筆算	変更	<p>練習問題3を、次のように変更した。</p> <p>次の計算の仕方を説明しましょう。</p> <p>(1) $2538 \div 3 = 846$</p> <p>(2) $6937 \div 68 = 102$ あまり1</p> <p>(3) $1639 \div 136 = 12$ あまり7</p>	<p>編集の具体的方針(6)</p> <p>珠算の仕方を説明してもよい。</p>
147	図	変更	<p>りなの考えとカルロスの考えの図式を、次のように表した。</p> <p>りなの考え</p> <p>(ア) $6 \div 2 = 3$</p> <p>(イ) $30 \div 10 = 3$</p> <p>(ウ) $60 \div 20 = 3$</p> <p>(ア)と(イ)を比べると、わられる数が5倍になるとわる数は□倍になっています。</p> <p>(イ)と(ウ)を比べると、わられる数が2倍になるとわる数は□倍になっています。</p> <p>カルロスの考え</p> <p>(カ) $60 \div 20 = 3$</p> <p>(キ) $30 \div 10 = 3$</p> <p>(ク) $6 \div 2 = 3$</p>	編集の具体的方針(1)

			<p>(カ)と(キ)を比べると、(カ)のわられる数 60 を 2 でわると(キ)のわられる数の 30 になります。</p> <p>(カ)のわる数の 20 を□でわると(キ)のわる数の 10 になります。</p> <p>(キ)と(ク)を比べると、(キ)のわられる数の 30 を 5 でわると(ク)のわられる数の 6 になります。</p> <p>(キ)のわる数の 10 を□でわると(ク)のわる数の 2 になります。</p>	
148	図	変更	<p>クレアの考えとゆうとの考えの図式を、次のように表した。</p> <p>クレアの考え (ア) $200 \div 25 = 8$ (イ) $40 \div 5 = 8$ (ア)と(イ)を比べると、(ア)のわられる数 200 を 5 でわると(イ)のわられる数の 40 になります。 (ア)のわる数の 25 を 5 でわると(イ)のわる数の 5 になります。</p> <p>ゆうとの考え (カ) $200 \div 25 = 8$ (キ) $800 \div 100 = 8$ (カ)と(キ)を比べると、(カ)のわられる数 200 を 4 倍すると(キ)のわられる数の 800 になります。 (カ)のわる数の 25 を 4 倍すると(キ)のわる数の 100 になります。</p>	編集の具体的方針(1)
148	筆算 8	削除 変更	<p>3. の筆算の仕方の図を削除し、文章を次のように変更した。</p> <p>$4800 \div 500$ を $48 \div 5$ として計算します。どのように考えて計算したか説明しましょう。</p>	編集の具体的方針(6)
149	図	変更	<p>数直線図は、もとになる数を表す数直線を先に触れるよう、上下を逆にした。さらに、児童がノートにかけるよう、表も掲載した。</p> <p>本単元では、数直線図を同様に変更し、同じ活動内で複数の数直線図が掲載されている場合は、最初は数直線図と表の両方を示し、それ以降は表のみとした。</p>	編集の具体的方針(4)
150	筆算	削除 変更	<p>「しっかりチェック」の商の見当を付ける筆算の説明と図を削除し、次のように表した。</p>	編集の具体的方針(6)

			<p>432÷18 について考えましょう。</p> <p>(1) 商の見当をつけましょう。</p> <p>商が立つ位を決める。商は、10 の位に立つ。</p> <p>わる数の 18 を 20 とみて、商の見当をつける。</p> <p>(2) 計算しましょう。</p>	
151	筆算	変更	<p>4. の筆算を、次のように横書きの式に変更した。</p> <p>(1) $86 \div 26 = 2$ あまり 34</p> <p>(2) $882 \div 42 = 210$</p>	編集の具体的方針(6)
153	絵	削除 変更	<p>絵を削除し、次のように表した。</p> <p>次の 1 から 4 の場面について考えてみましょう。</p> <p>1 20 円のチョコレートをいくつか買います。 さよこ「買う数を変えると代金は…」</p> <p>2 正三角形の板を図 1 のように横にならべていきます。 こうたろう「正三角形の枚数が増えると、周りの長さは…」</p> <p>3 水そうの水をポンプで抜いています。 りょうた「水を抜いた時間がふえると、水の高さは…」</p> <p>4 午前 9 時の気温は 10 度でした。 あきこ「時刻が変わると、気温は…」</p> <p>みほ「ともなって変わるものいろいろあるね。」 やすお「変わり方に決まりがあるものと、ないものがあるね。」</p>	編集の具体的方針(5)
154	5～ 9 図	変更	<p>1. の文章を、次のように変更した。</p> <p>○ページの図 2 の点と点の間は 1 cm です。点と点を直線で結んで、周りの長さが 18cm になる長方形をいろいろ考えて、縦の長さや横の長さの変わり方を調べましょう。</p> <p>(1) いろいろな長方形を考えましょう。</p> <p>(2) どのような長方形を考えたか発表しましょう。</p> <p>黒板に図 3～図 6 の長方形が貼ってあります。 先生「みんなが考えた長方形は○ページの図 3～図 6 のようになりました。変わり方にきまりがあるかな。」 つばさ「この並び方だと、ばらばらでよくわからない</p>	編集の具体的方針(1) (9)

			な。」																													
156	図	変更	<p>黒板にかかれたつばさの考えとゆいの考えを、次のように表した。</p> <p>つばささんとゆいさんは考えたことを表に書き込みました。</p> <p>つばさの考え 表2</p> <table border="1"> <tr> <td>縦の長さ(cm)</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>横の長さ(cm)</td> <td>8</td> <td>7</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>3</td> </tr> </table> <p>縦の長さ・・・1ずつ増える 横の長さ・・・1ずつ減る</p> <p>クレア「つばささんは、表を縦の方向に見たんだと思います。そうすると…」</p> <p>ゆいの考え 表3</p> <table border="1"> <tr> <td>縦の長さ(cm)</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>横の長さ(cm)</td> <td>8</td> <td>7</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>3</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">9 9 9 9 9 9</p> <p>ゆうと「ゆいさんは表を縦の方向に…」</p>	縦の長さ(cm)	1	2	3	4	5	6	横の長さ(cm)	8	7	6	5	4	3	縦の長さ(cm)	1	2	3	4	5	6	横の長さ(cm)	8	7	6	5	4	3	編集の具体的方針(1)
縦の長さ(cm)	1	2	3	4	5	6																										
横の長さ(cm)	8	7	6	5	4	3																										
縦の長さ(cm)	1	2	3	4	5	6																										
横の長さ(cm)	8	7	6	5	4	3																										
156	記号	変更	文章中の○を(フ)、△を(ム)に変更した。	編集の具体的方針(8)																												
158	6 表 図	変更	<p>(1)(2)を次のように表した。</p> <p>(1) つばささんとゆいさんは、次の表を見て考えました。2人の考えを説明しましょう。</p> <table border="1"> <tr> <td>段の数(だん)</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>棒の数(本)</td> <td>4</td> <td>8</td> <td>12</td> <td>16</td> </tr> </table> <p>つばさの考え $4 + \square \times 9 = 40$ 答え 40本</p> <p>ゆいの考え 1を4倍すると4、2を4倍すると8、3を4倍すると12、4を4倍すると16 $\square \times 4 = 40$ 答え 40本</p>	段の数(だん)	1	2	3	4	棒の数(本)	4	8	12	16	編集の具体的方針(1)																		
段の数(だん)	1	2	3	4																												
棒の数(本)	4	8	12	16																												

			<p>(2) クレアさんの考えを説明しましょう。</p> <p>クレアの考え</p> <p>次の図のようにへこんだ部分の棒を動かして正方形にします。</p> <p>$10 \times \square = 40$</p> <p>答え 40本</p>	
159	1 絵	削除 変更	<p>4. の水槽の図を削除し、文章を次のように変更した。</p> <p>2つの水槽ア. イ. から、それぞれ違うポンプで水を抜いていきます。次の表をみて、先に水がなくなるのはア. イ. のどちらの水槽か考えましょう。</p>	編集の具体的方針(1)
159	グラフ	変更	<p>グラフの目もりをできるだけ大きくするため、横の軸は18までとした。</p>	編集の具体的方針(1)
164	図	変更	<p>(1)のテープ図は、触って図を見る際には、左から右、上から下の順が基本であるため、倍を表す数直線、もとにする大きさ、比べる大きさの順に並べた。</p> <p><u>本單元ではこれ以降のテープ図についても、同様に変更した。</u></p>	編集の具体的方針(4)
165	図	変更 削除	<p>(2)のテープ図の吹き出しを削除して文章化し、問題文を次のように変更した。</p> <p>図を使って、次の文の□にあてはまる数を入れ、文を完成させましょう。</p> <p>2mを□とみると□にあたる大きさは6m</p>	編集の具体的方針(1)
166	図	変更 削除	<p>(2)のテープ図の吹き出しを削除し文章化し、問題文を次のように変更した。</p> <p>図を使って、次の文の□にあてはまる数を入れ、文を完成させましょう。</p> <p>24mを□とみると□にあたる大きさは6m</p>	編集の具体的方針(1)
170	2 図	変更	<p>「算数たまたまばこ」の数直線図(か～け)を表(カ.～ケ.)で表した。それに伴い、問題文を次のように変更した。</p> <p>次のア.～エ.について、問題に合うものを表カ.～ケ.から選びましょう。</p>	編集の具体的方針(4)
173	絵	削除 変更	<p>絵を削除し、次の文章とリットルますの点図のみで表した。なお、リットルますの図では、目もりを外側</p>	編集の具体的方針(1) (5)

			<p>にし、読み取りやすくした。</p> <p>水筒とやかんに入っている水のかさを、1Lますを使って調べると図のようになりました。</p> <p>ゆうな「水筒は□Lと□Lで、合わせて□Lあるよ。」 だいき「やかんは1.3Lとあと少しあるけど、0.1Lごとの目もりでは、あと少しが表せないよ。」</p> <p><u>本單元ではこれ以降、リットルますの目盛りは同様に外側に示した。</u></p>	
175	図	変更	<p>めあての後にある、長さの関係を示した図式を、次のように表した。</p> <p>ア. 100cm — 1m イ. 10cm — 0.1m ウ. 1cm — 0.01m</p> <p>ア. とイ. を比べます。ア. の100cmとイ. の10cmをみると、10cmは100cmの1/10です。ア. の1mとイ. の0.1mをみると、0.1mは1mの1/10です。</p> <p>イ. とウ. を比べます。イ. の10cmとウ. の1cmをみると、1cmは10cmの1/10です。イ. の0.1mとウ. の0.01mをみると、0.01mは0.1mの1/10です。</p>	編集の具体的方針(1)
175	絵	変更	<p>メジャーの絵は触察できるよう、簡略化して点図にした。</p>	編集の具体的方針(5)
175	10	変更	<p>3. の文章を、次のように変更した。</p> <p>135cmは何mですか。□にあてはまる数を答えましょう。</p> <p>100cm=1m 1mの1つ分 30cm=0.3m 0.1mの3つ分 5cm=0.05m 0.01mの5つ分 135cm=□m</p>	編集の具体的方針(9)
176	図	変更	<p>めあての後にある、長さの関係を示した図式を、次のように表した。</p> <p>ア. 1000m — 1km イ. 100m — 0.1km ウ. 10m — 0.01km エ. 1m — 0.001km</p> <p>ア. とイ. を比べます。ア. の1000mとイ. の100m</p>	編集の具体的方針(1)

			をみると、100mは1000mの $\frac{1}{10}$ です。ア.の1kmとイ.の0.1kmをみると、0.1kmは1kmの $\frac{1}{10}$ です。 イ.とウ.を比べます。イ.の100mとウ.の10mをみると、10mは100mの $\frac{1}{10}$ です。イ.の0.1kmとウ.の0.01kmをみると、0.01kmは0.1kmの $\frac{1}{10}$ です。 ウ.とエ.を比べます。ウ.の10mとエ.の1mをみると、1mは10mの $\frac{1}{10}$ です。ウ.の0.01kmとエ.の0.001kmをみると、0.001kmは0.01kmの $\frac{1}{10}$ です。	
177	6 図	変更	(2)を、次のように変更した。 0.01, 0.001はそれぞれ1の何分の1か次のように考えました。□にあてはまる数を答えましょう。 1と0.1を比べました。0.1は1の $\frac{1}{10}$ 1と0.01を比べました。0.01は1の□ 1と0.001を比べました。0.001は1の□	編集の具体的方針(1) (9)
177	8 図	変更	(3)を、次のように変更した。 0.01, 0.001をそれぞれ何倍すると1になるかを次のように考えました。□にあてはまる数を答えましょう。 1と0.1を比べました。1は0.1の10倍。 1と0.01を比べました。1は0.01の□倍。 1と0.001を比べました。1は0.001の□倍。	編集の具体的方針(9)
178	写真	削除 追加	2.の北浦大橋の写真を削除し、文章のあとに、次のラビちゃんのセリフを追加した。 ラビちゃん「茨城県鹿嶋市と行方市を結ぶ北浦大橋の長さは1.296kmだよ。」	編集の具体的方針(5)
178	写真	削除 追加	練習問題3の車椅子マラソンの写真を削除し、文章のあとに、次のラビちゃんのセリフを追加した。 ラビちゃん「車椅子マラソンで走る距離は42.195kmだよ。」	編集の具体的方針(5)
182	7	変更	(1)の「↑を書きましょう」を「印をつけましょう」に変更した。	編集の具体的方針(9)
183	文章	追加	そろばんと関係付けて学習することを強調するために、次の文章を追加した。 ここでは、珠算編1の「2たし算・ひき算 5小数	編集の具体的方針(6) (7)

			のたし算・ひき算」を使って、そろばんで計算の仕方を考えよう。	
183	絵	削除 変更	黒板の絵を削除し、黒板に書かれた問題の前に「先生が黒板に問題を書いています。」と入れた。	編集の具体的方針(5)
184	絵	変更	黒板の様子を、次のように文章で表した。 黒板にゆうとさんとゆいさんの考えを書いたものが貼ってあります。 ゆうとの考え 1.23は0.01が123個 4.75は0.01が475個 合わせて0.01が□個 ゆいの考え 1.23は1と0.2と0.03 4.75は4と0.7と0.05 あわせて□+□+□ クレア「ゆうとさんは□をもとにして考えています。」 つばさ「ゆいさんは位ごとに分けて考えています。」 カルロス「3年生のときと同じように計算できるんだね。」	編集の具体的方針(5)
184	筆算	削除 変更	筆算の仕方の説明と図を削除し、計算の仕方を次のように表した。 1.23+4.75の計算は次のようにします。 1.23+4.75の計算の仕方 (1)1の位の計算 1に4をたす。1の位の答えは5 (2)1/10の位計算 2に7をたす。1/10の位の答えは9 (3)1/100の位の計算 3に5をたす。1/100の位の答えは8 (4)(1)(2)(3)を合わせて 1.23+4.75=5.98 (5)1.23+4.75=5.98	編集の具体的方針(6)
185	筆算	変更	(1)の筆算を、次のように横書きの式に変更した。 (ア)6.5+1.32=7.82 (イ)6.5+1.32=1.97	編集の具体的方針(6)
185	16	削除	「よくあるまちがい」は筆算に関することであるため、削除した。	編集の具体的方針(6)

186	筆算	削除 変更	<p>筆算の仕方の説明と図を削除し、計算の仕方を次のように表した。</p> <p>4. $56 - 1.35$ の計算は次のようにします。</p> <p>(1) 1の位の計算 4から1をひく。1の位の答えは3</p> <p>(2) 1/10の位計算 5にから3をひく。1/10の位の答えは2</p> <p>(3) 1/100の位の計算 6から5をひく。1/100の位の答えは1</p> <p>(4) (1)(2)(3)を合わせて3.21</p> <p>(5) $4.56 - 1.35 = 3.21$</p>	編集の具体的方針(6)
187	筆算	変更	<p>4.(1)と5.(1)の筆算を、次のように横書きの式に変更した。</p> <p>4.(1) 次のア. イ. のどちらが正しいか話し合ひましょ う。</p> <p>ア. $7.84 + 5.3 = 7.31$ イ. $7.84 - 5.3 = 2.54$</p> <p>5.(1) 次のウ. エ. のどちらが正しいか話し合ひましょ う。</p> <p>ウ. $4.6 - 0.23 = 4.43$ エ. $4.6 - 0.23 = 4.37$</p>	編集の具体的方針(6)
187	筆算	変更	<p>「よくあるまちがい」を、次のように変更した。</p> <p>次の計算は1/100の位の計算が間違っています。 まちがい $3.1 - 2.34 = 0.84$ ただしい $3.10 - 2.34 = 0.76$ 3.1は3.10とみて計算します。</p>	編集の具体的方針(6)
188	筆算	変更 削除	<p>「しっかりチェック」3.の筆算の仕方の説明と図を削除し、計算の仕方を次のように表した。</p> <p>3. $1.23 + 4.56$ の計算の仕方</p> <p>(1) はじめに1の位から計算する。 $1 + 4 = \square$</p> <p>(2) 次に0.1の位を計算する。 $0.2 + 0.5 = \square$</p> <p>(3) 次に0.01の位を計算する。</p>	編集の具体的方針(6)

			$0.03 + 0.06 = \square$ (4) (1) ~ (3) を合わせて \square	
--	--	--	--	--

188	11	変更	2(1)の「↑を書きましょう」を「印をつけましょう」に変更した。	編集の具体的方針(9)
189	写真	削除 変更	「算数たまたまばこ」の写真を削除し、次のように表した。 身の回りには次のような小数があります。 ①モニターに東京オリンピックでの陸上男子100mの記録が表示されています。 ヤコブス(イタリア) 9.8秒 ②道路の標識には次のように書かれています。 道路の幅 1.55m	編集の具体的方針(5)
190	絵	削除 変更	遠足の絵はシートのみを、合宿の部屋の絵は畳のみをそれぞれ点図化し、次のように表した。 遠足で図1のようにシートを広げてお弁当を食べています。 なおき「ア. とイ. のシートはどちらが広いかな。」 あいり「横幅はほとんど同じだけど…」 野球の合宿に来ています。みんなの部屋とコーチの部屋は図2のとおりです。 たくみ「みんなの部屋はコーチの部屋より広いかな。」	編集の具体的方針(5)
193	図	変更	練習問題1, 練習問題2の図は, 形の内側と外側を指先で捉えやすくするために方眼の1目盛りの大きさを1.5cm程度にした。 また, 練習問題3についても, 図の作りやすさを考慮して方眼の1目もりを1.5cm程度にした。	編集の具体的方針(1)
195	4 図	変更	$4 \times 9 = 36$ の図式を, 次のように表した。 $4 \times 9 = 36$ 1cm ² の正方形の数で考えると (縦に並ぶ数) × (横に並ぶ数) = (全体の数) (縦の長さ) × (横の長さ) = (面積) ラビちゃん「縦や横に並ぶ1cm ² の正方形の数と, 辺の長さを表す数が同じだからだね。」	編集の具体的方針(1)
197	16	変更	原典教科書287ページの図は, 4. の図と同じであるため, 改めてかくことはせず, 4. の図を用いて考えるよう, (1)の文章を次のように変更した。	編集の具体的方針(9)

			○ページの図を確かめながら，自分の考えを書きましょう。																
198	絵	変更	<p>黒板の絵はりなの考えとカルロスの考えのみを，次のように表した。</p> <p>りなの考え 図 カルロスの考え $6 \times 7 - 3 \times 2 = 42 - 6$ $= 36$</p> <p>クレアさんとゆうとさんが説明をしています。 クレア「りなさんの考えを式に表すと，$6 \times 5 + \dots$」 先生「6×5は図のどこのことかな。」 ゆうと「カルロスさんの6×7は…」</p>	編集の具体的方針(1)															
199	絵	変更	<p>教室の絵は，教室の枠と縦の長さ，横の長さ，1 m^2を表す部分のみを点図化した。</p>	<p>編集の具体的編集(5)</p> <p>教室で1 m^2の大きさにテープを貼るなどして，実際の大きさが実感できるような活動を行うとよい。</p>															
200	写真	削除 追加	<p>3.の体育館のコートを測っている様子の写真を削除し，次のラビちゃんのセリフを追加した。</p> <p>ラビちゃん「フロアバレーボールのコートの面積はどのくらいだろう。」</p>	編集の具体的方針(5)															
200	セリフ	変更	<p>3.のラビちゃんのセリフと，面積調べをした記録用紙を次のように表した。</p> <p>ラビちゃん「表1のような表を作って調べてみよう。測った長さは四捨五入してcmかmで表すといいよ。例えば$25 \text{ cm } 7 \text{ mm} = 25.7 \text{ cm}$，$25.7$の$1/10$の位を四捨五入すると$26$なので$26 \text{ cm}$と表せるよ。同じようにすると，$5 \text{ m } 32 \text{ cm} = 5.32 \text{ m}$，$5.32$の$1/10$の位を四捨五入して$5 \text{ m}$だね。」</p> <p>表1 面積調べ</p> <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th>名前</th> <th>見当</th> <th>たて</th> <th>横</th> <th>面積</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>点字紙</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名前	見当	たて	横	面積	点字紙										編集の具体的方針(9)
名前	見当	たて	横	面積															
点字紙																			
201	写真	削除	<p>東京ドーム近辺の写真を削除し，次のようにラビち</p>	編集の具体的方針(5)															

		変更	<p>やんのセリフで表した。</p> <p>ラビちゃん「1km²の中には東京都文京区にある東京ドームが約20個入るよ。」</p>																	
202	絵 写真	変更	<p>6. の絵や写真を削除し、次のように表した。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">1 mの長さ</td> <td style="width: 50%;">面積</td> </tr> <tr> <td>1 m</td> <td>1 m²</td> </tr> <tr> <td>↓ □倍</td> <td>↓ □倍</td> </tr> <tr> <td>10m</td> <td>1 a (100 m²)</td> </tr> <tr> <td>↓ □倍</td> <td>↓ □倍</td> </tr> <tr> <td>100m</td> <td>1 ha (10000 m²)</td> </tr> <tr> <td>↓ □倍</td> <td>↓ □倍</td> </tr> <tr> <td>1 km (1000m)</td> <td>1 km² (1000000 m²)</td> </tr> </table>	1 mの長さ	面積	1 m	1 m ²	↓ □倍	↓ □倍	10m	1 a (100 m ²)	↓ □倍	↓ □倍	100m	1 ha (10000 m ²)	↓ □倍	↓ □倍	1 km (1000m)	1 km ² (1000000 m ²)	編集の具体的方針(5)
1 mの長さ	面積																			
1 m	1 m ²																			
↓ □倍	↓ □倍																			
10m	1 a (100 m ²)																			
↓ □倍	↓ □倍																			
100m	1 ha (10000 m ²)																			
↓ □倍	↓ □倍																			
1 km (1000m)	1 km ² (1000000 m ²)																			
206 ~208	絵	削除 変更	<p>そろばんの絵を削除し、問題のみとした。なお、練習問題1は次のように変更した。</p> <p>次の数をそろばんにおきましょう。</p> <p>① 34800000000</p> <p>② 16.28</p> <p>③ 0.95</p>	編集の具体的方針(7)																
209	14	変更	<p>ふくろう先生のセリフを、次のように変更した。</p> <p>ふくろう先生「1から順に足したものと、逆に9から足したものを上下に並べて書くと、次のようになります。</p> <p>1 + 2 + 3 + 4 + 5 + 6 + 7 + 8 + 9</p> <p>9 + 8 + 7 + 6 + 5 + 4 + 3 + 2 + 1</p> <p>2つの式を縦にみて、上下の数を足すと□になります。</p> <p>なので、□×9÷□=□」</p>	編集の具体的方針(9)																
211	図	変更	<p>5の囲みの中の図式を、次のように表した。</p> <p>(ア) 9×8=72</p> <p>(イ) 90×8=□</p> <p>(ア)と(イ)の式を比べます。(イ)の90は(ア)の9の□倍なので(ア)の72と(イ)の□も□倍です。</p>	編集の具体的方針(1)																
212	文章	追加	<p>そろばんと関係付けて学習することを強調するために、次の文章を追加した。</p> <p>この單元では、珠算編2の「3かけ算 3小数のか</p>	編集の具体的方針(7)																

			け算 4わり算 3小数のわり算」を使って、そろばんで計算の仕方を考えよう。							
212	絵 図	削除 変更	<p>「材料はどれだけ必要な」の絵を削除し、次のように表した。また、数直線図は上下を逆にし、表も追加した。</p> <p>みんなでいちごのデザートを作ることにしました。いちごのデザートの一人分の材料は次のとおりです。</p> <p>デザートのもと 1ふくろ イチゴ 4こ 牛乳 0.2L</p> <p>しほ「いちごのデザートを6人分作ることにしたよ。材料はそれぞれどれだけ必要な。」 あや「デザートのもととは6ふくろ使うね。」 みさ「いちごの数は□=□で、□個だね。」 そうた「牛乳の量はどんな計算で求めればいいのかね。」 しほ「いちごの数を求める時は、図や表のように表せるから…。」</p>	編集の具体的方針(5)						
213	図	変更	<p>クレアのイメージしている図を、次のようにセリフと表で表した。</p> <p>クレア「表2で考えると…」</p> <p>表</p> <table> <tr> <td>人数(人)</td> <td>1</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>牛にゅうの量(L)</td> <td>0.2</td> <td>□</td> </tr> </table>	人数(人)	1	6	牛にゅうの量(L)	0.2	□	編集の具体的方針(1)
人数(人)	1	6								
牛にゅうの量(L)	0.2	□								
214	絵	削除 変更	<p>黒板の絵を削除し、次のように表した。</p> <p>黒板にゆうとさん、クレアさん、りなさんの考えたことが書いてあります。</p> <p>ゆうとの考え</p> $0.2L = 2dL$ $2 \times 6 = 12$ $12dL = 1.2L$ <p>クレアの考え</p> <p>0.2は□の2個分。</p> $2 \times 6 = 12$ <p>□が12個で1.2</p> <p>りなの考え</p> $0.2 \times 6 = \square$ <p>かけられる数の0.2を10倍すると2になります。</p>	編集の具体的方針(1) (5)						

			$2 \times 6 = 12$ 12は 0.2×6 の積□の10倍になっています。 □は12の $1/10$ になっています。 ゆい「みんな整数の計算し直しているところがにているよ。」 つばさ「クレアさんとりなさんの考え方ならいつでも…」	
215	図	変更	(1)を、次のように変更した。 次の□に当てはまる数を考え、答えを求めましょう。 (ア) $4.2 \times 3 = \square$ (イ) $42 \times 3 = 126$ (ア)と(イ)の式を比べます。(イ)の42は(ア)の4.2の10倍なので、(イ)の126は(ア)の□の10倍です。 また、□は126の $1/10$ です。	編集の具体的方針(1)
215	筆算	削除 変更	筆算の仕方の説明と図を削除し、計算の仕方を次のように表した。 4.2×3 の計算は次のようにします。 4.2×3 の計算の仕方 (1) 4.2を10倍すると42になる。整数のときと同じように計算する。 (2) $42 \times 3 = 126$ (3) かける数を10倍したので答えの126を $1/10$ にする。12.6 (4) $4.2 \times 3 = 12.6$ ラビちゃん「式を10倍したから答えも10倍になっているよね。だから、元の式の答えを出すためには126を $1/10$ すればいいんだよね。」	編集の具体的方針(6)
216	筆算 5	削除 変更	筆算の図を削除し、ラビちゃんのセリフを次のように変更した。 ラビちゃん「小数点の位置に気を付けよう。」	編集の具体的方針(6)
217	図	変更	りなの考えの図式を、次のように表した。 りなの考え (ア) $4.21 \times 3 = \square$ (イ) $421 \times 3 = 1263$ (ア)と(イ)の式を比べます。(イ)の421は4.21の100倍なので、(イ)の1263は(ア)の□倍です。	編集の具体的方針(1)

			また、(ア)の□は(イ)の1263の1/100です。 4.21×7の積は□です。	
217	8 筆算	削除 変更	筆算の仕方の説明と図を削除し、(2)の文章と計算の仕方を次のように表した。 4.21×3の計算の仕方を次の□に当てはまる数を考えながら説明しましょう。 (ア) 4.21×3=□ (イ) □×3=1263 (ア)と(イ)の式を比べます。(イ)の□は(ア)の4.12の100倍なので、(イ)の1263は(ア)の□の100倍です。 また、(ア)の□は(イ)の1263の1/□です。	編集の具体的方針(6)
217	筆算	変更	「さらに考えよう」の筆算を、横書きの式に変更した。	編集の具体的方針(6)
218	筆算	変更	5の筆算を、横書きの式と答えで表した。	編集の具体的方針(6)
220	絵 図	削除 変更	黒板の絵を削除してリットルマスを点図化し、次のように表した。 黒板にゆいとカルロスの考えが書いてあります。 ゆいの考え 3.6は□の36個分 $36 \div 3 = 12$ で□の12個分だから、1.2 カルロスの考え 図のように、3.6を3と0.6に分ける。 $3 \div 3 = 1$ 0.6は0.1Lが6個分だから $6 \div 3 = 2$ だから 0.2 1と0.2を合わせて1.2	編集の具体的方針(1) (5)
221	絵	削除 変更	黒板の絵を削除し、先生のセリフを次のように変更した。 先生「牛乳の問題の3.6Lを7.2Lに変えます。」 カルロス「7.2を7と0.2に分けても…」	編集の具体的方針(1)
221	9	変更	(1)のつばさの考えを、次のように表した。なお、リットルマスの図を省略し、「1L」「0.1L」という文字のみとした。 つばさの考え 図のように、7.2を7と0.2に分けて考える。 (1) $7 \div 3 = 2$ あまり 1	編集の具体的方針(1)

			<p>(2) あまった1と0.2を合わせて1.2 1.2は0.1の12個分 (3) $12 \div 3 = 4$ だから 0.4 (4) 2と0.4を合わせて2.4</p> <p>図</p> <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">1 L 1 L</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">1 L 1 L</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">1 L 1 L</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: left;"> <p>1 L (0.1L 10こに分ける) 0.1L 0.1L</p> </div> <div style="text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">0.1L 0.1L 0.1L 0.1L</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">0.1L 0.1L 0.1L 0.1L</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">0.1L 0.1L 0.1L 0.1L</div> </div> </div>	
222	筆算	削除 変更	<p>筆算の仕方の説明と図を削除し、計算の仕方を次のように表した。</p> <p>7.2÷3の計算は次のようにします。 7.2÷3の計算の仕方</p> <p>(1) 7÷3の計算をする。1の位に商2が立つ。 (2) 7から2・3が6 6をひく。残りは12 (3) 12÷3の計算をする。1/10の位に商4が立つ。 (0.4) 12から4・3 12をひく。残りは0 (4)(1)(2)を合わせて 2+0.4=2.4</p>	編集の具体的方針(6)
223	6	変更	<p>「小数点をうってから計算します」を「1/10の位を計算します」に変更した。</p>	編集の具体的方針(6)
224	4 筆算	削除 変更	<p>筆算の仕方の説明と図を削除し、計算の仕方を次のように表した。それに伴い、(1)(2)の文章も変更した。</p> <p>(1) 次の文章は、7.35÷3の計算の仕方です。 (ア)の13は、どのような数が13こあることを表していますか。</p>	編集の具体的方針(6)

			<p>(2) (イ)の15は、どのような数が15こあることを表していますか。</p> <p>7.35÷3の計算は次のようにします。</p> <p>7.35÷3の計算の仕方</p> <p>(1) 7÷3の計算をする。1の位に商2が立つ。 7から2・3が6 6をひく。残りは13 (ア)</p> <p>(2) 13÷3の計算をする。1/10の位に商4が立つ。 (0.4) 13から4・3 12をひく。残りは15 (イ)</p> <p>(3) 15÷3の計算をする。1/100の位に5が立つ。 (0.05)</p> <p>(4) (1)(2)(3)を合わせて 2+0.4+0.05=2.45</p> <p>(5) 7.2÷3=2.45</p>	
225	筆算	削除 変更	<p>(1)のア.イ.の筆算を削除し、横書きの式と答えのみで表した。</p> <p>ア. $13.6 \div 3 = 4$ あまり 16</p> <p>イ. $13.6 \div 3 = 4$ あまり 1.6</p>	編集の具体的方針(6)
225	図	変更	<p>メジャーの図を簡略化し、目もりを数えられるよう、1目盛りを3mとした。</p>	編集の具体的方針(1)
225	12	変更	<p>「発見！」の筆算を削除し、文章を次のように変更した。</p> <p>小数の割り算であまりを考えると、あまりの小数点はわられる数もとの小数点の位置に戻します。</p>	編集の具体的方針(6)
226	筆算	削除 変更	<p>(1)の筆算を削除し、次のように変更した。</p> <p>(1) 次の計算で、(ア)の2は0.01の何個分といえますか。</p> <p>3.4÷4の計算の仕方</p> <p>(1) 3÷4の計算をする。1の位に商が立たない。 (0)</p> <p>(2) 34÷4の計算をする。1/10の位に商8が立つ。 (0.8) 34から8・4 32をひく。残りは2 (ア)</p>	編集の具体的方針(6)
226	筆算	削除 変更	<p>(1)の筆算を削除し、次のように変更した。</p> <p>(2) あまりをさらに4等分しましょう。</p>	編集の具体的方針(6)

			<p>3.4÷4の計算の仕方</p> <p>(1) 3÷4の計算をする。1の位に商が立たない。 (0)</p> <p>(2) 34÷4の計算をする。1/10の位に商8が立つ。 (0.8)</p> <p>34から8・4 32をひく。残りは2</p> <p>(3) 20÷4の計算をする。1/100の位に5が立つ (0.05)</p> <p>20から5・4 20をひく。残りは0</p> <p>(4) (1)(2)(3)を合わせて 0+0.8+0.05=0.85</p> <p>(5) 3.4÷4=0.85</p>	
227	筆算	削除 変更	<p>3.の筆算を削除し、次のように変更した。</p> <p>4÷3の計算の仕方</p> <p>(1) 4÷3の計算をする。1の位に商1が立つ。 4から1・3が3をひく。残りは1</p> <p>(2) 10÷3の計算をする。1/10の位に商3が立つ。 (0.3)</p> <p>10から3・3が9をひく。残りは1</p> <p>(3) 10÷3の計算をする。1/100の位に3が立つ (0.03)</p> <p>10から3・3が9をひく。残りは1</p> <p>(4) (1)(2)(3)を合わせて 1+0.3+0.03=1.33</p> <p>(5) 4÷3=1.33あまり0.01</p>	編集の具体的方針(6)
228 229	図	変更	<p>(1)のテープ図は、倍を表す数直線、赤、緑の順とした。ラビちゃんのイメージ図は、倍を表す数直線、長さを表す数直線の順とし、表も掲載した。</p> <p>(2)(3)および練習問題1、p229の青囲みの中の数直線図はすべて表で示した。</p>	編集の具体的方針(4)
230	筆算	削除 変更	<p>「しっかりチェック」の筆算の説明と図を削除し、次のように表した。</p> <p>6.2×4の計算の仕方</p> <p>6.2を10倍すると62になる。整数のときと同じように計算する。</p> <p>(1) 62×4=248</p> <p>(2) かける数を10倍したので答えを1/10する。24.8</p> <p>(3) 62×4=24.8</p> <p>8.4÷6の計算の仕方</p> <p>(1) 8÷6の計算をする。1の位に商1が立つ。</p>	編集の具体的方針(6)

			<p>8から$1 \cdot 6$が6の6をひく。残りは24 (0.1が□こ)</p> <p>(2) $24 \div 6$の計算をする。$1/10$の位に商4が立つ。 (0.4)</p> <p>24から4×6の24をひく。残りは0</p> <p>(3) (1)(2)を合わせて $1 + 0.4 = 1.4$</p> <p>(4) $8.4 \div 6 = 1.4$</p>	
231	図	変更	<p>5のりなの考えを、次のように表した。</p> <p>りなの考え</p> <p>$4.52 \times 3 = \square$</p> <p>このかけられる数4.52を100倍すると452になります。</p> <p>$452 \times 3 = 1356$になります。</p> <p>1356は4.52×3の積□の100倍になっています。</p> <p>452×3の積1356を$1/100$すると□になります。</p>	編集の具体的方針(1)
232	図	変更	<p>「分数の計算を学習したね」の図式を、次のように表した。</p> <p>ひろき「分数の計算を学習したね。」</p> <p>(1) $1/5 + 2/5 = \square$</p> <p>$1/5$は□が1個、$2/5$は□が2個なので、足すと答えは□が3個。</p> <p>(2) $3/7 - 2/7 = \square$</p> <p>$3/7$は□が3個、$2/7$は□が2個なので、ひくと答えは□が1個。</p>	編集の具体的方針(1)
234	図	変更	<p>真分数、仮分数、帯分数の説明の横に書かれている具体的な数の例を、用語を説明する枠の後に移し、そこにラビちゃんのセリフを追加した。</p> <p>ラビちゃん「それぞれの分数の例を考えると…」</p> <p>ア. 真分数…分子<分母</p> <p>$1/3$ $2/3$ $1/4$ $2/4$ $3/4$</p> <p>イ. 仮分数…分子=分母, 分子>分母</p> <p>$3/3$ $4/3$ $5/3$ …</p> <p>ウ. 帯分数</p> <p>1と$1/3$ 1と$2/3$ …</p>	編集の具体的方針(1)
236	図	変更	<p>「発見！」の中の分数の図式を、次のように表した。</p> <p>$9/4 = 2$と$1/4$</p>	編集の具体的方針(1)

			<p>仮分数の分子の9を分母の4で割ります。</p> $9 \div 4 = 2 \text{ あまり } 1$ <p>商の2は、1の大きさが2個あるということなので、分数の前に書きます。</p> <p>あまりの1は、$1/4$の大きさが1個あるということなので、2の後に$1/4$を書きます。</p>	
237	図	変更	<p>「発見！」の中の分数に文章を追加した。</p> $2 \text{ と } 1/3 = 7/3$ <p>帯分数の2は、$3/3$が2個なので、分子の3に2をかけます。それに$1/3$の分子の1を足します。</p> $3 \times 2 + 1 = 7$ <p>だから、$7/3$</p>	編集の具体的方針(1)
239	図	変更	<p>めあての後にあるラビちゃんのイメージ図を次のように変更し、図の中に式を書いた上で、それぞれの量を表すリットルマスを図化した。</p> <p>ラビちゃん「1Lますで考えると… (図)」</p>	編集の具体的方針(1)
240	図	変更	<p>「さらに考えよう」のラビちゃんのイメージ図を次のように変更し、図の中に式を書いた上で、それぞれの量を表すリットルマスを図化した。</p> <p>ラビちゃん「1Lますで考えると… (図)」</p>	編集の具体的方針(1)
240	図	変更	<p>めあての後にあるラビちゃんのイメージ図を次のように変更し、それぞれの量を表すリットルマスを図化した。</p> <p>ラビちゃん「2と$1/5$、1と$3/5$を1Lますで表すと次の図のようになるから…」</p>	編集の具体的方針(1)
241	図	変更	<p>(1)のカルロスの考えを、次のように表した。</p> <p>カルロスの考え</p> $2 \text{ と } 1 \text{ で } 3$ $1/5 \text{ と } 3/5 \text{ で } 4/5$ <p>だから、$2 \text{ と } 1/5 + 1 \text{ と } 3/5 = 3 \text{ と } 4/5$</p>	編集の具体的方針(1)
241	図	変更	<p>「発見！」のラビちゃんが考えている図式を、次のようにセリフで表した。</p> <p>ラビちゃん「2と$1/5$では、2が整数部分で、$1/5$が分数部分だね。」</p>	編集の具体的方針(1)
241	図	変更	<p>「さらに考えよう」のラビちゃんのイメージ図を次</p>	編集の具体的方針(1)

			<p>のように変更し、それぞれの量を表すリットルマスを点図化した。</p> <p>ラビちゃん「2と3/4, 1と2/4を1Lますで表すと次の図のようになるから…」</p>	
245	図	削除 変更	<p>(2)で定規をあてて操作している絵を削除し、次のようにラビちゃんのセリフで表した。</p> <p>ラビちゃん「○ページの図は同じ大きさの分数が縦に並んでいるよ。定規を使うと見つけやすくなるね。」</p>	編集の具体的方針(1)
250	文章	追加	<p>「直方体と立方体」の単元の始まりに以下の文章を追加した。</p> <p>ここでは、「上から見た図」を『上から』, 「正面から見た図」を「正面から」と書いています。</p>	編集の具体的方針(1)
250	写真	削除 変更	<p>箱の写真を削除し、上から見た図と正面から見た図で表した。また、ラビちゃんのセリフを次のように変更した。</p> <p>ラビちゃん「図のようなア.～カ.の箱があるよ。この中から一つ選んで隠し、質問をして隠した形をあてよう。」</p> <p>ア. ポテトチップの箱 イ. コアラのマーチの箱 ウ. チョコレートの箱 エ. コーヒーの箱 オ. ティッシュペーパーの箱 カ. ラップフィルムの箱</p>	編集の具体的方針(1) (5)
250	写真	削除 変更	<p>形当てゲームをしている写真を削除し、次のように表した。</p> <p>カルロスさんとゆいさんとつばささんの3人が形当てゲームをしています。</p> <p>はじめにカルロスさんのかくした形をつばささんとゆいさんが当てます。</p> <p>つばさ「面は全部平らですか。」 カルロス「はい。」 ゆい「面は全部四角形ですか。」 カルロス「はい。」 ラビちゃん「次にどんな質問をすればいいかな。」</p>	編集の具体的方針(5)
251	写真	削除	箱の写真を削除し、次のように表した。	編集の具体的方針(5)

		変更	<p>いろいろな箱を集めました。</p> <p>ア. ポテトチップの箱</p> <p>イ. コアラのマーチの箱</p> <p>ウ. チョコレートの箱</p> <p>エ. コーヒーの箱</p> <p>オ. ティッシュペーパーの箱</p> <p>カ. ラップフィルムの箱</p>	実際に似たような形の箱を使って学習ことが望ましい。
252	写真	削除 変更	<p>写真を削除し，記号のみで表した。</p> <p>ゆいの考え</p> <p>(1) ア. イ. カ. キ.</p> <p>(2) ウ. エ. オ.</p>	編集の具体的方針(5)
252	図	変更	<p>直方体と立方体の見取り図は，上から見た図と正面から見た図に変更した。</p> <p><u>本單元ではこれ以降，見取図を同様に，上から見た図と正面から見た図に変更した。</u></p>	編集の具体的方針(1)
252	絵	削除 変更	<p>ラビちゃんがイメージしているボールの絵を削除し，次のように表した。</p> <p>ラビちゃん「ボールの形は球だから立体だね。」</p>	編集の具体的方針(5)
253	図	変更	<p>(2)のりながイメージしている図を削除し，次のように表した。</p> <p>りな「上の面にも下の面にも頂点が4つずつあるから…。」</p>	編集の具体的方針(1)
254	図	削除	1. の直方体の図を削除した。	編集の具体的方針(1)
254	図	削除	青囲みの中の箱を開いていく様子を表す図を削除し，展開図のみとした。	編集の具体的方針(1)
255	1 図	変更 削除	<p>(2)の直方体の図を削除し，文章を次のように変更した。</p> <p>縦4 cm，横5 cm，高さ3 cmの直方体があります。展開図を考えましょう。(図)</p> <p>また，展開図を切り取って，直方体を作りましょう。</p>	編集の具体的方針(1)
255	図 6 ～12	変更	<p>練習問題1の展開図の頂点に記号をつけた。それに伴い，文章を次のように変更した。</p> <p>図の直方体の展開図を組み立てます。</p>	編集の具体的方針(1) (9)

			<p>(1) 面セウカサと向かい合う面に印をつけましょう。</p> <p>(2) 辺アイと重なる辺に印をつけましょう。</p> <p>点スと重なる頂点全部に印をつけましょう。</p>	
256	図	削除	2. の立方体の図を削除した。	編集の具体的方針(1)
256	図	追加	<p>ゆうとのイメージ図を、次のように表した。</p> <p>ゆうと「図○のように途中まで書いてみた。続きはどうなるのかな。」</p>	編集の具体的方針(1)
256	図 12～ 16	変更	<p>練習問題3の展開図の頂点に記号を付けた。それに伴い、文章を次のように変更した。</p> <p>図12の立方体の展開図を組み立てます。</p> <p>(1)面アイウセと向かい合う面に印をつけましょう。</p> <p>(2)辺カキと重なる辺に印をつけましょう。</p> <p>(3)点クと重なる頂点全部に印をつけましょう。</p>	編集の具体的方針(1) (9)
257	図 1～ 3	変更	<p>クレアとカルロスのセリフに出てくる図の頂点に記号を付け、二人のセリフを次のように表した。</p> <p>クレア「長方形には、垂直な辺と平行な辺があるね。例えば、図の辺アエと辺イウは平行で、辺アイと辺イウは垂直だよ。」</p> <p>カルロス「直方体にも垂直や平行はあるのかな。」</p>	編集の具体的方針(5)
257	図	削除 変更	1. (1)(3)の直方体の見取り図を、展開図に変更した。また、三角定規があてられている角には垂直記号を付けた。	編集の具体的方針(11) 実際に直方体の箱と三角定規を用いて確認する活動を行うことが望ましい。
257	セリフ	削除 変更	<p>ラビちゃんのセリフにある図を削除し、文章化した。</p> <p>ラビちゃん「垂直は三角定規の90度の角を使って確かめられるよ。教室を大きな直方体とすると垂直と並行はどこにあるのかな。」</p>	編集の具体的方針(9)
258	図	削除 変更	2. (1)(3)の直方体の見取り図を、展開図に変更した。また、三角定規があてられている角には垂直記号を付けた。	編集の具体的方針(11)
258	写真 絵	削除 変更	<p>(2)のラビちゃんがイメージしている写真や絵を削除し、次のように表した。</p> <p>ラビちゃん「辺と辺の垂直は三角定規の90度の角を使って確かめられるよ。教室を大きな直方体とすると床</p>	編集の具体的方針(1) (5)

			の面の縦と横と高さは垂直かな。」	
259	図	削除 変更	3.(1)(4)の直方体の見取り図を、展開図に変更した。また、三角定規があてられている角には垂直記号を付けた。	編集の具体的方針(11)
259	写真 絵	削除 変更	(2)のラビちゃんがイメージしている写真や絵を削除し、次のように表した。 ラビちゃん「辺と辺の垂直は三角定規を2枚使うと確かめられるよ。図の展開図を組み立てて考えてみよう。教室を大きな直方体とすると高さで垂直な面はどこかな。」	編集の具体的方針(1) (9)
260	全体	変更	点字で学ぶ児童は、見取り図から立体を捉えることはなく、ましてや自分で見取り図をかくことはできない。そのため、見取り図のかき方を学ぶ箇所について、次のように変更した。 15-4 立体の表し方 立体の形が分かるようにかいた図には、見取り図や上からみた図、正面から見た図などがあります。 1. 直方体の上からみた図と正面からみた図を考えましょう。 (1) 縦4cm, 横5cm, 高さ3cmの直方体の「上から見た図」と「正面からみた図」を考えてみましょう。 練習問題1 次の立体の「上から見た図」と「正面から見た図」を考えましょう。 1. 1辺の長さが3cmの立方体 2. 縦4cm, 横3cm, 高さ2cmの直方体 練習問題2 図○のような「上から見た図」と「正面から見た図」の立体は直方体でしょうか。	編集の具体的方針(9) (11)
261	図	変更	宝島の図は、島の絵を削除し、マス目と場所のみを点図化した。また、ヤシの木と見張り台の位置をそれぞれA, Bとして追加した。	編集の具体的方針(1)
261	2	変更	1. の文章を、次のように変更した。 図○は宝島の地図の上にマス目を書いたものです。(ア)をもとにすると、(イ) (ウ)の位置はどのよう	編集の具体的方針(9)

			に表せばよいでしょうか。	
262	絵	変更	<p>2. の図からヤシの木と見張り台の絵は削除し、ヤシの木の根元の位置を点A, 見張り台の下の位置を点Bとして追加した。(エ) (オ) の点は文章で分かるため図の中では省略した。また, 文章を次のように変更した。</p> <p>図○で (ア) をもとにすると, ヤシの木の上の点 (エ), 見張り台の上の点 (オ) の位置はどのように表せばよいでしょうか。</p> <p>(1) ヤシの木の根元の位置Aを (ア) をもとにして表しましょう。</p> <p>(2) あと何が分かれば, (エ) の位置が表せますか。</p>	編集の具体的方針(1)
262	図	変更	練習問題2の見取図を削除し, 上から見た図, 正面から見た図, 左から見た図, 右から見た図に変更した。	編集の具体的方針(11)
263	図	変更	<p>たしかめ問題1の見取図と見取図をかきかけている図を削除し, 展開図に変更した。そのため, 5. の文章を次のように変更した。</p> <p>5. この直方体の上から見た図, 正面から見た図を考えましょう。</p>	編集の具体的方針(11)
263	図	変更	<p>たしかめ問題2の図は風船の絵を削除し, 文章を次のように変更した。</p> <p>Aの地点をもとにしたとき, B地点の上2mのところにある風船の位置はどのように表すことができますか。</p>	編集の具体的方針(1)
264	図 3	変更	<p>たしかめ問題3の図の中の○を省略し, 2. の文章を次のように変更した。</p> <p>2. 辺HDと重なる辺に印をつけましょう。</p>	編集の具体的方針(1)
264	図	削除	「学んだことを生かそう」の見取図を削除し, 展開図のみ点図化した。	編集の具体的方針(11)
270	写真	削除 変更	<p>多治見駅前の温度計の写真を削除し, 写真の内容を次のようにラビちゃんのセリフとして入れた。</p> <p>ラビちゃん「岐阜県多治見市のある日の気温は40.7度だったよ。」</p>	編集の具体的方針(5)
274	9	変更	ア. ①の問題では, 点字教科書では触って目盛りを数えられるよう, 1目盛りを10℃とした。そのた	編集の具体的方針(1)

			<p>め、答えも「10°C」に変更した。</p> <p>ア. ②の問題では、午前10時の温度を正確に読み取 ることは難しいため、「およそ何°Cですか。」に変更 し、答えも「およそ19°C」に変更した。</p>	
274	グラ フ	変更	<p>ウ. のグラフについて、縦と横の数値を入れた状態 とし、折れ線グラフに表わすことだけを問うこととし た。</p>	編集の具体的方針(1) (2)
278	図	変更 削除	<p>□. の図について、直線が9本もかかれており、触 って垂直や平行なものを探すことは難しい。そこで、 垂直な線と平行な線を1組ずつにして提示した。それ に伴い、問題文の「全部見つけましょう」を削除し た。</p> <p>また、答えは次のように記した。</p> <p>(1) 直線イ. と直線エ. (2) 直線ア. と直線ウ.</p>	編集の具体的方針(1) (11)